

# 官報

號外 昭和十四年三月二十四日

## ○第七十四回 帝國議會 貴族院議事速記錄第二十八號

昭和十四年三月二十三日(木曜日)午前十時  
十四分開議

議事日程 第二十八號

昭和十四年三月二十三日  
午前十時開議

第一 昭和十二年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

第二 昭和十二年度特別會計豫備費支  
出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送  
付)

第三 昭和十二年度第一豫備金支出ノ  
件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

第四 昭和十二年度第二豫備金支出ノ  
件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

第五 昭和十三年度特別會計第二豫備  
金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議  
院送付)

第六 昭和十三年度特別會計豫備金外  
ニ於テ豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求  
ムル件)(衆議院送付)

第七 軍馬資源保護法案(政府提出、衆  
議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第八 種馬統制法案(政府提出、衆議院  
送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第九 國道四號線中盛岡市、沼宮內  
町間道路改良ノ請願

第十 國道四號線改良ニ關スル請  
願

第十一 國道十五號線中和歌山市、  
高野口町間道路鋪裝ノ請願

第十二 國道函館市ニ官立高等工  
業學校設置ノ請願

第十三 公共圖書館費國庫補助法制  
定ノ請願

第十四 競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律  
案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十五 臺灣米穀移出管理特別會計法案  
(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十六 地方學事通則中改正法律案  
(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十七 林道網計畫樹立實施ニ關スル  
請願

第十八 造林國策樹立實施ニ關スル  
法律改正ノ請願

第十九 渡良瀬川改修ニ關スル請願

- 第二十 海外同胞物故者慰靈堂建立助  
成金下付ノ請願
- 第二十一 北海道函館市ニ官立高等工  
業學校設置ノ請願
- 第二十二 國道十五號線中和歌山市、  
高野口町間道路鋪裝ノ請願
- 第二十三 公共圖書館費國庫補助法制  
定ノ請願
- 第二十四 大楠公史蹟顯彰ニ關スル請  
願
- 第二十五 林道網計畫樹立實施ニ關ス  
ル請願
- 第二十六 造林國策樹立實施ニ關スル  
法律改正ノ請願
- 第二十七 町村特別稅段別割ニ關スル  
法律改正ノ請願
- 第二十八 國立自然博物館設立ノ請願
- 第二十九 岩手縣紫波郡志和村ニ盛岡  
區裁判所出張所設置ノ請願
- 第三十 國民負擔不均衡是正ニ關スル  
請願
- 第三十一 販賣斡旋間伐材運搬ニ要ス  
ル貨車增配ノ請願
- 第三十二 農村部落團體活動助成金交  
付ニ關スル請願
- 第三十三 能生漁港修築促進ノ請願
- 第三十四 山陽本線周防高森、山口線  
德佐ノ兩驛間ヲ鐵道豫定線ニ編入ノ  
請願
- 第三十五 國道四號線改良ニ關スル請  
願
- 第三十六 西紀勢線鐵道速成ノ請願
- 第三十七 豊定線新宮、阪本間鐵道速  
成ニ關スル請願
- 第三十八 私立大學國庫補助法制定ノ  
請願
- 第三十九 豊定線松山附近、佐川間鐵  
道速成ノ請願
- 第四十 總武本線千葉、銚子ノ兩驛間  
電化促進ノ請願
- 第四十一 交通事業法補償令改正ノ請  
願
- 第四十二 德島縣小松島港ヨリ高知縣  
香美郡山田町ニ至ル鐵道敷設ノ請願
- 第四十三 國立自然博物館設立ノ請願  
セマス
- 副議長(侯爵佐佐木行忠君) 報告ヲ致サ  
〔丸龜書記官朗讀〕
- 昨二十二日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府  
提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆  
議院ニ通知セリ
- 昭和十三年法律第八十七號中改正法律  
案
- 國際電氣通信株式會社法中改正法律案  
同日委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ  
氏名左ノ如シ
- 災害被害者ニ對スル租稅ノ減免、徵收猶  
豫等ニ關スル法律案特別委員會
- 中支那振興株式會社法中改正法律案特別  
委員會
- 委員長 侯爵中山 輔親君  
副委員長 男爵岩村 一木君  
子爵白川 資長君



十一回、三月二十二日質疑ヲ終リマシテ討論ニ移リ、續イテ三案共原案ヲ可決致シマシタ、只今ヨリ本委員會ニ於ケル經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、開會當初ニ於キマシテ農林大臣ヨリ三案ノ御説明ガゴザイマシタ、其ノ大體ハ本議場ニ於ケル御説明ト大差ゴザイマセヌカラ、之ヲ申上ゲルコトハ省略致シマス、其ノ他質疑應答等モト一回ニ亘リ各般ノ事項ニ付キマシテ、可ナリ微ニ入り細ニ入ッテ質問應答ガ行ハレマシタ、從ツテ之ヲ詳細ニ只今申上ゲルコトハ却テ繁多ニシテソレ程ノ效果ガナイト存ジマスカラシテ、極メテ大要ノミヲ申上ゲマシテ詳細ノコトハ總テ速記録ニ就テ御承知ヲ願ヒタイト存ジマス、先づ軍馬資源保護法案竝ニ種馬統制法案ノ法案ノ内容ニ付テ一通り申上ゲタイト存ジマス、是ハ今次ノ支那事變ニ於キマシテ貴重ナル實戰ノ經驗ト、軍備各般ノ施設ニ一大變革ガ生ジマシタ爲ニ、之ニ應ジマシテ從來ノ馬政計畫ヲ變更致シマシテ、新タニ馬政計畫ヲ樹立致サレマシタノトモウ一つハ今次事變ニ於ケル徵發馬ノ素質其ノ他其ノ馴致ノ方法等ニ付キマシテ是デニナリマシテ、從ツテ是等ノ素質ノ向上ヲ圖リ、軍馬資源ノ充實ヲ期セナケレバナラナイト云フヤウニ立至リマシタノデ、之ニ關シマシテ陸軍當局ヨリシテ馬政局ニ對シマシテ、陸軍ノ要事項ト云フモノヲ示サレマシタ、ソレガ此ノ馬政計畫ノ根本デアリマス、其ノ要旨ヲ申上ゲマスト、ソレハ總テニ於テ六ツゴザイマス、第一ハ、輓型馬ノ生産ヲ第一義トシ、乘型馬ハ之ヲ制限スルコト、ソレカラ種類ハ「アングロノルマン」及ビ是ガ半血種ヲ適當トスル、第二

ハ、種牡馬ハ原則トシテ國有トシ、其ノ種類及素質ヲ整理改善スルコト、第三、種牡馬ハ適當ノ保護獎勵ヲ加ヘテ、其ノ充實ヲ結果ヲ御報告申上ゲマス、開會當初ニ於キマシテ農林大臣ヨリ三案ノ御説明ガゴザイマシタ、其ノ大體ハ本議場ニ於ケル御説明ト大差ゴザイマセヌカラ、之ヲ申上ゲルコトハ省略致シマス、其ノ他質疑應答等モト一回ニ亘リ各般ノ事項ニ付キマシテ、可ナリ微ニ入り細ニ入ッテ質問應答ガ行ハレマシタ、從ツテ之ヲ詳細ニ只今申上ゲルコトハ却テ繁多ニシテソレ程ノ效果ガナイト存ジマスカラシテ、極メテ大要ノミヲ申上ゲマシテ詳細ノコトハ總テ速記録ニ就テ御承知ヲ願ヒタイト存ジマス、先づ軍馬資源保護法案竝ニ種馬統制法案ノ法案ノ内容ニ付テ一通り申上ゲタイト存ジマス、是ハ今次ノ支那事變ニ於キマシテ貴重ナル實戰ノ經驗ト、軍備各般ノ施設ニ一大變革ガ生ジマシタ爲ニ、之ニ應ジマシテ從來ノ馬政計畫ヲ變更致シマシテ、新タニ馬政計畫ヲ樹立致サレマシタノトモウ一つハ今次事變ニ於ケル徵發馬ノ素質其ノ他其ノ馴致ノ方法等ニ付キマシテ是デニナリマシテ、從ツテ是等ノ素質ノ向上ヲ圖リ、軍馬資源ノ充實ヲ期セナケレバナラナイト云フヤウニ立至リマシタノデ、之ニ關シマシテ陸軍當局ヨリシテ馬政局ニ對シマシテ、陸軍ノ要事項ト云フモノヲ示サレマシタ、ソレガ此ノ馬政計畫ノ根本デアリマス、其ノ要旨ヲ申上ゲマスト、ソレハ總テニ於テ六ツゴザイマス、第一ハ、輓型馬ノ生産ヲ第一義トシ、乘型馬ハ之ヲ制限スルコト、ソレカラ種類ハ「アングロノルマン」及ビ是ガ半血種ヲ適當トスル、第二

ハ、種牡馬ハ原則トシテ國有トシ、其ノ種類及素質ヲ整理改善スルコト、第三、種牡馬ハ適當ノ保護獎勵ヲ加ヘテ、其ノ充實ヲ結果ヲ御報告申上ゲルコトハ省略致シマシテ、其ノ大體ハ本議場ニ於ケル御説明ト大差ゴザイマセヌカラ、之ヲ申上ゲルコトハ却テ繁多ニシテソレ程ノ效果ガナイト存ジマスカラシテ、極メテ大要ノミヲ申上ゲマシテ詳細ノコトハ總テ速記録ニ就テ御承知ヲ願ヒタイト存ジマス、先づ軍馬資源保護法案竝ニ種馬統制法案ノ法案ノ内容ニ付テ一通り申上ゲタイト存ジマス、是ハ今次ノ支那事變ニ於キマシテ貴重ナル實戰ノ經驗ト、軍備各般ノ施設ニ一大變革ガ生ジマシタ爲ニ、之ニ應ジマシテ從來ノ馬政計畫ヲ變更致シマシテ、新タニ馬政計畫ヲ樹立致サレマシタノトモウ一つハ今次事變ニ於ケル徵發馬ノ素質其ノ他其ノ馴致ノ方法等ニ付キマシテ是デニナリマシテ、從ツテ是等ノ素質ノ向上ヲ圖リ、軍馬資源ノ充實ヲ期セナケレバナラナイト云フヤウニ立至リマシタノデ、之ニ關シマシテ陸軍當局ヨリシテ馬政局ニ對シマシテ、陸軍ノ要事項ト云フモノヲ示サレマシタ、ソレガ此ノ馬政計畫ノ根本デアリマス、其ノ要旨ヲ申上ゲマスト、ソレハ總テニ於テ六ツゴザイマス、第一ハ、輓型馬ノ生産ヲ第一義トシ、乘型馬ハ之ヲ制限スルコト、ソレカラ種類ハ「アングロノルマン」及ビ是ガ半血種ヲ適當トスル、第二

ハ、種牡馬ハ原則トシテ國有トシ、其ノ種類及素質ヲ整理改善スルコト、第三、種牡馬ハ適當ノ保護獎勵ヲ加ヘテ、其ノ充實ヲ結果ヲ御報告申上ゲルコトハ省略致シマシテ、其ノ大體ハ本議場ニ於ケル御説明ト大差ゴザイマセヌカラ、之ヲ申上ゲルコトハ却テ繁多ニシテソレ程ノ效果ガナイト存ジマスカラシテ、極メテ大要ノミヲ申上ゲマシテ詳細ノコトハ總テ速記録ニ就テ御承知ヲ願ヒタイト存ジマス、先づ軍馬資源保護法案竝ニ種馬統制法案ノ法案ノ内容ニ付テ一通り申上ゲタイト存ジマス、是ハ今次ノ支那事變ニ於キマシテ貴重ナル實戰ノ經驗ト、軍備各般ノ施設ニ一大變革ガ生ジマシタ爲ニ、之ニ應ジマシテ從來ノ馬政計畫ヲ變更致シマシテ、新タニ馬政計畫ヲ樹立致サレマシタノトモウ一つハ今次事變ニ於ケル徵發馬ノ素質其ノ他其ノ馴致ノ方法等ニ付キマシテ是デニナリマシテ、從ツテ是等ノ素質ノ向上ヲ圖リ、軍馬資源ノ充實ヲ期セナケレバナラナイト云フヤウニ立至リマシタノデ、之ニ關シマシテ陸軍當局ヨリシテ馬政局ニ對シマシテ、陸軍ノ要事項ト云フモノヲ示サレマシタ、ソレガ此ノ馬政計畫ノ根本デアリマス、其ノ要旨ヲ申上ゲマスト、ソレハ總テニ於テ六ツゴザイマス、第一ハ、輓型馬ノ生産ヲ第一義トシ、乘型馬ハ之ヲ制限スルコト、ソレカラ種類ハ「アングロノルマン」及ビ是ガ半血種ヲ適當トスル、第二

ハ、種牡馬ハ原則トシテ國有トシ、其ノ種類及素質ヲ整理改善スルコト、第三、種牡馬ハ適當ノ保護獎勵ヲ加ヘテ、其ノ充實ヲ結果ヲ御報告申上ゲルコトハ省略致シマシテ、其ノ大體ハ本議場ニ於ケル御説明ト大差ゴザイマセヌカラ、之ヲ申上ゲルコトハ却テ繁多ニシテソレ程ノ效果ガナイト存ジマスカラシテ、極メテ大要ノミヲ申上ゲマシテ詳細ノコトハ總テ速記録ニ就テ御承知ヲ願ヒタイト存ジマス、先づ軍馬資源保護法案竝ニ種馬統制法案ノ法案ノ内容ニ付テ一通り申上ゲタイト存ジマス、是ハ今次ノ支那事變ニ於キマシテ貴重ナル實戰ノ經驗ト、軍備各般ノ施設ニ一大變革ガ生ジマシタ爲ニ、之ニ應ジマシテ從來ノ馬政計畫ヲ變更致シマシテ、新タニ馬政計畫ヲ樹立致サレマシタノトモウ一つハ今次事變ニ於ケル徵發馬ノ素質其ノ他其ノ馴致ノ方法等ニ付キマシテ是デニナリマシテ、從ツテ是等ノ素質ノ向上ヲ圖リ、軍馬資源ノ充實ヲ期セナケレバナラナイト云フヤウニ立至リマシタノデ、之ニ關シマシテ陸軍當局ヨリシテ馬政局ニ對シマシテ、陸軍ノ要事項ト云フモノヲ示サレマシタ、ソレガ此ノ馬政計畫ノ根本デアリマス、其ノ要旨ヲ申上ゲマスト、ソレハ總テニ於テ六ツゴザイマス、第一ハ、輓型馬ノ生産ヲ第一義トシ、乘型馬ハ之ヲ制限スルコト、ソレカラ種類ハ「アングロノルマン」及ビ是ガ半血種ヲ適當トスル、第二





イ話デアリマス、皇國ニ對シテ、皇國ノ面  
目ニモ關スルコトデアリマスカラ、私ハ絶  
對ニ反對致シマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 他ニ御發言  
モナケレバ三案ノ採決ヲ致シマス、三案ノ  
第二讀會ヲ開クコトニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ  
請ヒマス

〔起立者多數〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 過半數ト認  
メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ各案ノ第二讀  
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 西大路子爵  
ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイ  
ト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 三案ノ第二  
讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ全部ヲ  
問題ニ供シマス、三案全部、委員長ノ報告  
通リデ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイ  
ト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 過半數ト認  
メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ各案ノ第二讀  
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 西大路子爵  
ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイ  
ト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 目程第十、  
臺灣米穀移出管理特別會計法案、政府提出、  
衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、  
委員長大隈侯爵

臺灣米穀移出管理特別會計法案、  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及  
報告候也

昭和十四年三月二十二日 委員長 侯爵大隈 信常

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

〔侯爵大隈信常君演壇ニ登ル〕

○侯爵大隈信常君 只今上程セラレマシタ  
ハ、三月十一日ヨリ昨二十二日ニ至ル間、  
實ニ十回ニ亘リマシテ熱心ニ質疑應答ヲ重  
ネマシタ、慎重審議致シマシタ上ニ原案通  
リニ可決スベキモノト議決シタ次第ゴザ  
イマス、而シテ本案提出ノ理由竝ニ臺灣米  
穀移出管理案ノ趣旨及内容ニ付キマシテ當  
局ノ説明ヲ聽キマシタノデアリマスガ、其  
大要ヲ茲ニ申上げマスレバ、臺灣ノ米價  
ハ内地ニ於ケル米穀政策ノ影響ヲ受ケマシ  
テ非常ニ有利トナツテ、米作ニ走ルノ傾向ヲ  
馴致致シマシタガ故ニ、此ノ傾向ヲ抑制ス  
ル爲ニ水利施設、土地改良等ノ施設ハ一切  
シナガラ此ノ事ハ臺灣農業全體ノ行詰リヲ  
招來致シマシテ、生產力擴充ノ緊要ナル現  
在トシテハ甚ダシキ矛盾デアリマス、又此  
ノ傾向ヲ放任スルニ於キマシテハ、農業ノ  
調和的發達ハ困難デアル

〔議長伯爵松平賴壽君議長席ニ著ク〕  
且農業經營ヲ不健全ナランメ、將來農業經  
濟ヲ不安定ナラシムル虞モアルノデアリマ  
スカラ、此ノ際米價ヲ臺灣ノ經濟事情ニ即ス  
ルヤウニ適當ニ調節シ、生產力擴充施設ハ之  
ヲ積極的ニ實行ニ移スト共ニ、經營ノ多角  
化集約化ヲ圖シテ、農家經濟ノ安定向上ニ資  
スルト共ニ、農業資源ノ利用開發ヲ徹底セ  
シメテ、以テ臺灣ノ保有スル產業的使命ヲ  
達成セシムル爲ニ、本管理事業ノ實施が必  
要デアルト云フコトデアリマシタ、而シテ  
各委員ヨリ本案竝ニ米穀移出管理案ノ内容  
ニ關シマシテ、各般ニ瓦リ種々多様ノ質疑  
ガアリマシタノデアリマス、併シナガラ其  
ノ詳細ノコトハ茲ニ御報告スルコトヲ止メ  
マシテ、委細速記録ニ讓ルコトニ致シマス、  
其ノ主ナルモノヲ茲ニ掲ゲテ御報告シタイ  
ト思フノデアリマス、先づ次ノ如キモノガ  
シマシテ、臺灣協力ノ實ヲ擧タルコトトモ  
ナリマシテ、統治上適切ニシテ且必要ナル  
ラズ、内地ト臺灣トノ關聯性ハ一層緊密化  
シマシテ、内臺協力ノ實ヲ擧タルコトトモ  
ナリマシテ、統治上適切ニシテ且必要ナル  
政策デアルコトヲ信ズルモノデアルト云フ  
御答辯デアリマシタ、第二、本管理案ハ我  
ガ國全體ノ食糧政策、特ニ時局下ノ食糧政  
策及米穀配給統制法トノ關係ニ付キマシテ  
ハ、一、本管理案ヲ實施シマスト共ニ、現  
在禁止シテ居リマス所ノ水利施設竝ニ土地  
耕作ノ造成、水田ノ改良擴張ヲ圖ルト云フ  
コトニナシテ居リマスシ、一方ニ於キマシテ  
ハ、耕地、防風林ノ造成、施肥ノ合理化、

○子爵西大路吉光君 直チニ各案ノ第二讀  
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○子爵西大路吉光君 西大路子爵

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 西大路子爵  
ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

品種ノ改良、耕種輪ノ改善指導等ヲ徹底的ニ實施スルコトニナシテ居リマスカラ、平面ニモ、立體的ニモ生産ヲ增至スト云フコトニナリマシテ、而モ此ノ増産ハ我國全體ノ米ノ需要推算ニ基イテ、農林省トノ協議ニ基ク生産目標ニ依ツテ、從ツテ計畫的ニ増産ヲ圖ルト云フコトデアリマスノデ、計畫其ノモノガ增産計畫デアリマシテ、又計畫ニ於テ減産トナル虞ハナイト云フコトデアリマス、二ニ次ニ現下ノ食糧問題ニ對處スルノ方法ト致シマシテハ、昭和十五米穀年度ニ於キマシテ、既定計畫ノ增産ノ外ニ、更ニ安全性ヲ見込ミマシテ、内外地ヲ通ジテ相當數量ノ増産ヲ爲スコトニナシテ居リマシテ、臺灣ニ於キマシテハ、更ニ五十萬石程度ノ増産ヲ舉ゲルヤウニ目下準備中デアリマス、而モ此ノ增産計畫ハ臺灣ノ實情ヨリ考ヘマシテ、十分達成シ得ル見込デアルト云フコトデアリマシタ、三、又時局下ノ食糧對策ノ一ツトシテ、別ニ米穀配給統制法案ガ議會ニ提出サレテアリマスガ、同案ノ趣旨ハ米穀ノ配給及價格ヲ調整スルノガ眼目デアリマス、之ガ方法トシテハ、日本米穀會社ト云フモノヲ設ケマシテ、實米本位ノ市場業務ヲ行ハシムルト云フコトデアルノデアリマスノデ、臺灣米穀移出管理ニ於キマシテハ、總督府ガ買入レマシタ米穀ノ内地ニ於ケル販賣ヲ委託スルト云フコトニナシテ居リマス、又月々ノ内地販賣數量ニ付キス、上ニ述ベマシタヤウナ次第デアリマスカラ、此ノ臺灣米穀移出管理ノ事業ハ、

而モ其ノ補強策トナルモノデアリマシテ、  
決シテ支障トナルヤウナ如キモノデハナイ  
ト云フ答辯デゴザイマシタ、第三ニ糖業ヲ  
保護スルモノデナイカト云フ質問ニ對シマ  
シテハ、水田ニ於ケル甘蔗ノ貿收價格ハ從  
來大體米價ヲ標準トシテ決定サレテ居ツタ  
ノデアリマスガ、將來ハ砂糖ノ國內消費ノ  
増加竝ニ滿洲支那等ニ對スル供給增加ニ應  
ズル爲ニハ、今後益々甘蔗ノ面積ヲ増加セシ  
メネバナラヌノデアリマス、又無水酒精ノ  
原料獲得ノ爲ニモ相當ナル試作面積ヲ新タ  
ニ增加セナケレバナラヌト云フノデ、將來  
ハ米價ガ下リマシテモ是等ノ甘蔗作ノ面積  
擴張ノ爲ニハ、之ニ伴ツテ甘蔗ノ買收價格ヲ  
下ゲルト云フコトガ困難トナル事情デアリ  
マスバカリデナク、同時ニ農家經濟ニ及ス  
影響モ考ヘテ置カナケレバナラヌノデアリ  
マスカラシテ、尙本案實施ト同時ニ新タニ  
糖業令ヲ施行致シマシテ、以テ甘蔗ノ作付  
面積ト買收價格トヲ許可制トスル外、尙糖  
業ニ對スル監督ヲ強化擴大シテ、以テ米糖  
産業ノ調制ヲ爲シマスト共ニ、甘蔗買收價  
額ノ公正ヲ期スルコトト致シ、且又糖業者  
ヲシテハ無水酒精及「バルブ」ノ增產等、今後  
公益的事業ノ經營ニ誘導致シマシテ、國家  
的使命ノ達成ノ爲ニ十分協力セシタル方針  
デアリマス、カルガ故ニ決シテ糖業ヲ保護  
スルト云フモノデハアリマセヌト云フ旨ノ  
答辯ガアツタノデアリマス、尙本管理案ヲ  
計畫スルニ當リマシテ、言論ヲ抑壓シテ居  
事事實ナキヤド云フヤウナ質問モアツタノ  
デアリマスガ、之ニ對シテ當局ハ最初此ノ  
案ガ未ダ成案ヲ得ル前ニ於キマシテハ、色  
色ソコニ眞相ト違フ或ハ半知半解ノ考カラ

シテ、往々ニシテ面白カラザル調解ヲ生ズル虞ガアリマシタカラ、總督府ニ於キマシテハ適當ナル方法ヲ執ツテ居ツタノデアリマスガ、昨年臺灣重要產業調查委員會ニ於キハ、左様ナコトハ一切ナカックト云フコトノマシテ、此ノ案が大體成案ヲ得マシテカラハ、左様ナコトハ一切ナカックト云フコトノ御答辯ニアリマシタ、又最後ニ陸軍當局ヨリモ本案ニ對スル所見ヲ述ベラレマシタ、即チ陸軍トシテハ米ノ供給確保ト云フコトト同時ニ、重要ナル他ノ食糧資源ヲ得ルト云フ兩方ノ目的ヲ達成セシムルコトヲ確信シテ、本案ノ通過ヲ希望スルモノデアルト云フコトニアリマシタ、以上述ベマシタ所ハ質疑應答ノ大體デゴザイマスガ、詳細ノコドハ先ニ申上ダタ通り速記錄ニ於テ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス、續キマシテ討論ニ入ヅテ、先ヅ八條委員ハ米穀移出管理案ハ臺灣產業ノ健全ナル發達ヲ圖リ、島民ノ恒久的福利ヲ増進シ、臺灣特有ノ農業資源ノ擴充、徹底ヲ期スルト共ニ、併セテ内地ノ米穀政策ニ寄興セムトスルモノデアツテ、臺灣ノ產業ノ現狀竝ニ其ノ使命ニ鑑ミ、平時戰時ヲ通ジテ誠ニ時宜ヲ得タル緊切ナル法案デアルト云フ御見解ヲ以テ、全面的ニ贊意ヲ表セラレマシタ、而シテ松村義一委員ハ戰時食糧政策竝ニ臺灣統治上ノ關係等ヨリ遺憾ナガラ本案ニ贊成シ難キ旨ヲ述ベラレマシテ、又長岡委員ハ個人トシテ一二三ノ希望ヲ述ベラレマシテ贊成ノ意ヲ表セラレマシタ、次ニ又丸山委員ハ松村委員ト同様ナル御趣旨ヲ以テ反對ノ意見ヲ述ベラレマシタ、最後ニ小林委員ハ、本案ハ誠ニ一視同ト云フ旨ヲ述ベラレテ、贊成ノ意ヲ表セラレタノデアリマス、而シテ採決ニ入リマシ

○議長(伯爵松平龍壽君) 質疑者ノ通告方  
ゴザイマス、下村宏君  
(下村宏君演壇ニ登ル)  
○下村宏君 私ハ此ノ日程ニ上リマシタ本  
案ニ付テ二三ノ質疑ヲ試ミタイノデアリマ  
ス、御承知ノ通リ本案ハ衆議院、貴族院ヲ  
通ジテ可ナリ論難ヲ續ケラレテ居ツタノデ  
アリマス、私ハ嘗て臺灣ニ在職ヲ致シマシ  
タ故ノ以テ、平素外地ニ付テハ相當關心ヲ  
深クシテ居リマスルガ、此ノ論難ノ經過ヲ  
聽キマシテ、或ハ之ガ統治ノ上ニ氣遣ハシキ  
影響モアリハセヌカ、又一面ニハ斯クノ如  
キ重要ナル案件ガ固ヨリ素通りサレル筈デ  
ハナイノデアリマシテ、何處迄モ十分ニ検  
討サレ、審議サルベキ筈デアル、從ツテ曩ニ  
長ク朝鮮ニ在職セラレ、外地ニ關心ノ深イ  
丸山君ノ質問演説ニ付テモ私懶致シタノ  
デアリマス、又此ノ特別委員會ニモ時々暇  
ヲ見テハ參ツテ、各委員諸君ノ御論議ヲ拜聽  
シタノデアリマス、私方昨今本島人ノ一部  
ニ會ヒマスルト、其ノ人達ハ自分達ハ此ノ  
問題ニ對シテ其ノ手段ナリ方法ニ反対ヲシ  
テ居ルノデ、斯カル時局ニ對シテ唯負擔ヲ避  
ケヨウトカ、之ヲ厭フト云フ意持デナイン  
サリナガラ反対スル所以ヲ以テ或ハ非國民  
ト言ハレ、色々壓迫ヲ受ケルコトガ甚ダ心  
外デアル、更ニサウ云フコトデ臺灣ノ島民  
ガ誤解ヲ受ケルヤウナコトガアツテハ、誠ニ  
苦痛デアルト云フヤウナコトモ聞イタノデ  
アリマス、固ヨリ今回ノ時局ニ際シテモ、  
朝鮮ト云ハズ、臺灣ト云ハズ、此ノ時局ニ  
對シテ如何ニ奉公ノ誠ヲ效シツ、アルカト

ゴザイマス、下村宏君

○議長(伯爵松平義重君) 質疑者ノ通告方  
案ヲ原案通り可決確定致シマスコトニナツタ  
次第アリマス、以上報告申上ゲマス



居ラナインデアリマス、此ノ捕ハヌト云フコトガ、何デモナイヤウデアリマスルガ、是ハ内地ト外地、又外地相五間ノ連繫ガ十分デナイト云フコトデアツテ、私トシテハ深キ憂ヲ懷イテ居ルモノデアリマス、内地トノ連絡ノ不十分デアルト云フコトハ、委員會デ政府委員モ言明シテ居リマスルカラ、私ハソレヲ重ネテ申シマセヌガ、兎ニ角在來ノ體驗ヲ以テシマシテモ、私共ハ臺灣ニ居ル時ハ、米ノ燒打騒動カラ、次ノ内地ニ米ガ足ラナイ、寄越セ〜ト云フノデ、櫛ノ歯ヲ挽クガ如ク督促ヲ受ケタノデアリマス、其ノ後臺灣ト云ハズ、殊ニ朝鮮デハ下岡君ガ政務總監トナツテ、例ノ產米計畫ヲ出シタノデアリマス、臺灣モ朝鮮モ非常ニ馬力ヲ掛けテ米ノ生産ニ掛カル、其ノ中今度ハ内地ニ米ガ出來過ギテ來タ、米ノ値ガ下ッテ來タ、一體米ヲサウ寄越シテハイカヌ、怪シカラヌト云フノデ、今度ハ寄越スナ〜ト云フ催促ヲ受ケルコトニナツタノデアリマス、無論米ニ豐凶ノ別ガアリ、其ノ產額ニ差ガ生ズル以上ハ、或時ハ米ガ欲シイ、或時ハ要ラナイト云フノハ是ハ極メテ自然ナ話デアツテ、之ヲ私ハ兎ヤ角言フノデハアリマセヌガ、唯サウシタ場合ニソレニ依ッテ受ケル利害得失ト云フモノハ、内地モ外地モ是ハ一樣ニ受ケタイト云フノガ私ノ希望デアリマス、ソレデ非常ニ技術ヲ要シ面倒ナ問題デアリ、内地ト臺灣ト朝鮮、ソレ〜事情ヲ異ニシマスカラ、一律ニハ律シ難イノミナラズ、又代用食糧品ノ問題モアレバ、或ハ其ノ生産費ナリ、或ハ產額ナリ、或ハ又生計費等ニモ相當ノ開キガアリマスルカラ、是等ヲ検討シテ願クハ内地ナリ外地ノ米穀ト云フモノヲシテ検討シ、又同

ジ内地米ナラ内地米ニシマシテモ、今提案デナク、消費ニ屬スル米モ恐ラクハ四割以上ニモ上リマセウカ、是等モ總チ纏メテ茲ニ一貫シタ何等カノ國策ガ樹テラレタイノデアリマス、無論是ハ唯米ダケノ問題デナク、延イテ農民ノ問題、詰リ農村問題ニ入リマス、言フ迄モナク日本ハ島國デ、猫ノ額ノヤウナ所ヘ人口ハドン〜増シテ、而モ此ノ人間ガ外へ出タガラナインデアリマスルカラ、次第々々ニ農業ハ集約的トナリ、一人當ノ田畠ハ益少クナリ、農家ハ年ヲ逐フテ疲弊スルバカリデアリマス、デ私ハ北海道ノ高岡農學博士ノ言ニ、今日ノ日本ノ農產物ハ、現在ノ從事シテ居ル人ノ半數デ出来ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、内地ニ於ケル農會其ノ他ノ調ベニ依リマシテモ、六割アレバ宜イトカ、或ハ五割五分アレバ宜イト云フヤウナ說モ聞イテ居ルノデアリマス、デ現ニ今回ノ時局ニ直面シテ多數ノ壯年ノ人々ハ戰地ニ出征シテ居リマス、馬ハ夥シク徵發サレテ居リマス、更ニト云フ催促ヲ受ケルコトニナツタノデアリマス、六割アレバ宜イトカ、或ハ五割五分アレバ宜イト云フヤウナ說モ聞イテ居ルノデアリマス、地方カラ村ヲ離レテ都會ノ重工業地ニ來テ居ル者ハ尠クナインデアリマス、而モ昨年ノ米ノ收穫ハ餘リ例年ト變ラナイト云フコトハ、ソレダケ少クナツタカラトテ、同ジダケノ收穫ヲ擧ゲテ居ルノデ、所謂ソレダケ能率ガ擧シテ居ル、是程喜バシテ居ルト言ツテ居リマス、斯クノ如キハ要スル會デハ、當局デハ内地デ四百萬石ノ增產ヲ謀ソレダケ能率ガ擧シテ居ル、是程喜バシテ居ルト言ツテ居リマス、斯クノ如キハ要スル國ルト言ツテ居リマス、斯クノ如キハ要スル國民ガ奉公ノ念ニ燃エテ居ル、隣保相助ケル、共同ノ作業モヤル、或ハ共同ノ機械ノ利用デアルトカ、マア色々ニ綜合シタ結果デアリマセウガ、要スルニソレダケ一人

ジ内地米ナラ内地米ニシマシテモ、今提案デナク、消費ニ屬スル米モ恐ラクハ四割以上ニモ上リマセウカ、是等モ總チ纏メテ茲ニ一貫シタ何等カノ國策ガ樹テラレタイノデアリマス、無論是ハ唯米ダケノ問題デナク、延イテ農民ノ問題、詰リ農村問題ニ入リマス、言フ迄モナク日本ハ島國デ、猫ノ額ノヤウナ所ヘ人口ハドン〜増シテ、而モ此ノ人間ガ外へ出タガラナインデアリマスルカラ、次第々々ニ農業ハ集約的トナリ、一人當ノ田畠ハ益少クナリ、農家ハ年ヲ逐フテ疲弊スルバカリデアリマス、デ私ハ北海道ノ高岡農學博士ノ言ニ、今日ノ日本ノ農產物ハ、現在ノ從事シテ居ル人ノ半數デ出来ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、内地ニ於ケル農會其ノ他ノ調ベニ依リマシテモ、六割アレバ宜イトカ、或ハ五割五分アレバ宜イト云フヤウナ說モ聞イテ居ルノデアリマス、デ現ニ今回ノ時局ニ直面シテ多數ノ壯年ノ人々ハ戰地ニ出征シテ居リマス、馬ハ夥シク徵發サレテ居リマス、更ニト云フ催促ヲ受ケルコトニナツタノデアリマス、六割アレバ宜イトカ、或ハ五割五分アレバ宜イト云フヤウナ說モ聞イテ居ルノデアリマス、地方カラ村ヲ離レテ都會ノ重工業地ニ來テ居ル者ハ尠クナインデアリマス、而モ昨年ノ米ノ收穫ハ餘リ例年ト變ラナイト云フコトハ、ソレダケ少クナツタカラトテ、同ジダケノ收穫ヲ擧ゲテ居ルノデ、所謂ソレダケ能率ガ擧シテ居ル、是程喜バシテ居ルト言ツテ居リマス、斯クノ如キハ要スル國ルト言ツテ居リマス、斯クノ如キハ要スル國民ガ奉公ノ念ニ燃エテ居ル、隣保相助ケル、共同ノ作業モヤル、或ハ共同ノ機械ノ利用デアルトカ、マア色々ニ綜合シタ結果デアリマセウガ、要スルニソレダケ一人

ジ内地米ナラ内地米ニシマシテモ、今提案デナク、消費ニ屬スル米モ恐ラクハ四割以上ニモ上リマセウカ、是等モ總チ纏メテ茲ニ一貫シタ何等カノ國策ガ樹テラレタイノデアリマス、無論是ハ唯米ダケノ問題デナク、延イテ農民ノ問題、詰リ農村問題ニ入リマス、言フ迄モナク日本ハ島國デ、猫ノ額ノヤウナ所ヘ人口ハドン〜増シテ、而モ此ノ人間ガ外へ出タガラナインデアリマスルカラ、次第々々ニ農業ハ集約的トナリ、一人當ノ田畠ハ益少クナリ、農家ハ年ヲ逐フテ疲弊スルバカリデアリマス、デ私ハ北海道ノ高岡農學博士ノ言ニ、今日ノ日本ノ農產物ハ、現在ノ從事シテ居ル人ノ半數デ出来ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、内地ニ於ケル農會其ノ他ノ調ベニ依リマシテモ、六割アレバ宜イトカ、或ハ五割五分アレバ宜イト云フヤウナ說モ聞イテ居ルノデアリマス、デ現ニ今回ノ時局ニ直面シテ多數ノ壯年ノ人々ハ戰地ニ出征シテ居リマス、馬ハ夥シク徵發サレテ居リマス、更ニト云フ催促ヲ受ケルコトニナツタノデアリマス、六割アレバ宜イトカ、或ハ五割五分アレバ宜イト云フヤウナ說モ聞イテ居ルノデアリマス、地方カラ村ヲ離レテ都會ノ重工業地ニ來テ居ル者ハ専クナインデアリマス、而モ昨年ノ米ノ收穫ハ餘リ例年ト變ラナイト云フコトハ、ソレダケ少クナツタカラトテ、同ジダケノ收穫ヲ擧ゲテ居ルノデ、所謂ソレダケ能率ガ擧シテ居ル、是程喜バシテ居ルト言ツテ居リマス、斯クノ如キハ要スル國ルト言ツテ居リマス、斯クノ如キハ要スル國民ガ奉公ノ念ニ燃エテ居ル、隣保相助ケル、共同ノ作業モヤル、或ハ共同ノ機械ノ利用デアルトカ、マア色々ニ綜合シタ結果デアリマセウガ、要スルニソレダケ一人

ニ、是ハ外地ニハドウ響クカト云フコトニ考慮ヲ續ケル、此ノ點ガ若シ十分ニ其ノ機能ヲ發揮サレタナラバ、例へば今回ノ如キ事態モ私ハ起ラヌ苦ダト思フノデアリマス、是ハ無論私ガ一拓務省ニ付テノミ申スノデハナクテ、各省ニ於テモ鬼角割據ノ弊ガアリ、殊ニ外地ニ對シテハ動トモスレバ之ヲ看過シ易イノデアリマス、一例ヲ以テ申セバ、此ノ各省ニ色々々委員會ガアリマスルガ、或ハ教育制度ノ委員會ガアル、或ハ體力管理ノ委員會ガアル、或ハ貯蓄獎勵ノ委員會ガアル、或ハ中央物價ノ委員會ガアル、サウシタ委員會ノアル時毎ニ、ソレ等ノ問題ガドウシテモ外地ノ人モ其處ニ列シテ協力モスベキデアル、或ハ討議モスベキダニアリマス、處ガ動トモスレバレガ缺ケテ、拓務省ノ代表者スラ拔ケルコトガアリ、又今度ハ朝鮮ナリ臺灣ニ委員會ガアッテ、内地カラハ多數ノ委員ガソレニ參加シテ居テ、兄弟同志ノ代表ガ拔ケテ居ルト云フコトハ珍ラシクナイノデアリマス、私ハドウカ拓務省ガモット強化サレタイ、ソレカラ各モ、兄弟同志ノ代表ガ拔ケテ居ルト云フコトハ珍ラシクナイノデアリマス、私ハドウ

力管理ノ委員會ガアル、或ハ貯蓄獎勵ノ委員會ガアル、或ハ中央物價ノ委員會ガアル、サウシタ委員會ノアル時毎ニ、ソレ等ノ問題ガドウシテモ外地ノ人モ其處ニ列シテ協力モスベキデアル、或ハ討議モスベキダニアリマス、處ガ動トモスレバレガ缺ケテ、拓務省ノ代表者スラ拔ケルコトガアリ、又今度ハ朝鮮ナリ臺灣ニ委員會ガアッテ、内地カラハ多數ノ委員ガソレニ參加シテ居テ、兄弟同志ノ代表ガ拔ケテ居ルト云フコトハ珍ラシクナイノデアリマス、私ハドウカ拓務省ガモット強化サレタイ、ソレカラ各モ、兄弟同志ノ代表ガ拔ケテ居ルト云フコトハ珍ラシクナイノデアリマス、私ハドウ

力管理ノ委員會ガアル、或ハ貯蓄獎勵ノ委員會ガアル、或ハ中央物價ノ委員會ガアル、サウシタ委員會ノアル時毎ニ、ソレ等ノ問題ガドウシテモ外地ノ人モ其處ニ列シテ協力モスベキデアル、或ハ討議モスベキダニアリマス、處ガ動トモスレバレガ缺ケテ、拓務省ノ代表者スラ拔ケルコトガアリ、又今度ハ朝鮮ナリ臺灣ニ委員會ガアッテ、内地カラハ多數ノ委員ガソレニ參加シテ居テ、兄弟同志ノ代表ガ拔ケテ居ルト云フコトハ珍ラシクナイノデアリマス、私ハドウカ拓務省ガモット強化サレタイ、ソレカラ各モ、兄弟同志ノ代表ガ拔ケテ居ルト云フコトハ珍ラシクナイノデアリマス、私ハドウ

力管理ノ委員會ガアル、或ハ貯蓄獎勵ノ委員會ガアル、或ハ中央物價ノ委員會ガアル、サウシタ委員會ノアル時毎ニ、ソレ等ノ問題ガドウシテモ外地ノ人モ其處ニ列シテ協力モスベキデアル、或ハ討議モスベキダニアリマス、處ガ動トモスレバレガ缺ケテ、拓務省ノ代表者スラ拔ケルコトガアリ、又今度ハ朝鮮ナリ臺灣ニ委員會ガアッテ、内地カラハ多數ノ委員ガソレニ參加シテ居テ、兄弟同志ノ代表ガ拔ケテ居ルト云フコトハ珍ラシクナイノデアリマス、私ハドウカ拓務省ガモット強化サレタイ、ソレカラ各モ、兄弟同志ノ代表ガ拔ケテ居ルト云フコトハ珍ラシクナイノデアリマス、私ハドウ

力管理ノ委員會ガアル、或ハ貯蓄獎勵ノ委員會ガアル、或ハ中央物價ノ委員會ガアル、サウシタ委員會ノアル時毎ニ、ソレ等ノ問題ガドウシテモ外地ノ人モ其處ニ列シテ協力モスベキデアル、或ハ討議モスベキダニアリマス、處ガ動トモスレバレガ缺ケテ、拓務省ノ代表者スラ拔ケルコトガアリ、又今度ハ朝鮮ナリ臺灣ニ委員會ガアッテ、内地カラハ多數ノ委員ガソレニ參加シテ居テ、兄弟同志ノ代表ガ拔ケテ居ルト云フコトハ珍ラシクナイノデアリマス、私ハドウカ拓務省ガモット強化サレタイ、ソレカラ各モ、兄弟同志ノ代表ガ拔ケテ居ルト云フコトハ珍ラシクナイノデアリマス、私ハドウ

力管理ノ委員會ガアル、或ハ貯蓄獎勵ノ委員會ガアル、或ハ中央物價ノ委員會ガアル、サウシタ委員會ノアル時毎ニ、ソレ等ノ問題ガドウシテモ外地ノ人モ其處ニ列シテ協力モスベキデアル、或ハ討議モスベキダニアリマス、處ガ動トモスレバレガ缺ケテ、拓務省ノ代表者スラ拔ケルコトガアリ、又今度ハ朝鮮ナリ臺灣ニ委員會ガアッテ、内地カラハ多數ノ委員ガソレニ參加シテ居テ、兄弟同志ノ代表ガ拔ケテ居ルト云フコトハ珍ラシクナイノデアリマス、私ハドウカ拓務省ガモット強化サレタイ、ソレカラ各モ、兄弟同志ノ代表ガ拔ケテ居ルト云フコトハ珍ラシクナイノデアリマス、私ハドウ

力管理ノ委員會ガアル、或ハ貯蓄獎勵ノ委員會ガアル、或ハ中央物價ノ委員會ガアル、サウシタ委員會ノアル時毎ニ、ソレ等ノ問題ガドウシテモ外地ノ人モ其處ニ列シテ協力モスベキデアル、或ハ討議モスベキダニアリマス、處ガ動トモスレバレガ缺ケテ、拓務省ノ代表者スラ拔ケルコトガアリ、又今度ハ朝鮮ナリ臺灣ニ委員會ガアッテ、内地カラハ多數ノ委員ガソレニ參加シテ居テ、兄弟同志ノ代表ガ拔ケテ居ルト云フコトハ珍ラシクナイノデアリマス、私ハドウカ拓務省ガモット強化サレタイ、ソレカラ各モ、兄弟同志ノ代表ガ拔ケテ居ルト云フコトハ珍ラシクナイノデアリマス、私ハドウ

力管理ノ委員會ガアル、或ハ貯蓄獎勵ノ委員會ガアル、或ハ中央物價ノ委員會ガアル、サウシタ委員會ノアル時毎ニ、ソレ等ノ問題ガドウシテモ外地ノ人モ其處ニ列シテ協力モスベキデアル、或ハ討議モスベキダニアリマス、處ガ動トモスレバレガ缺ケテ、拓務省ノ代表者スラ拔ケルコトガアリ、又今度ハ朝鮮ナリ臺灣ニ委員會ガアッテ、内地カラハ多數ノ委員ガソレニ參加シテ居テ、兄弟同志ノ代表ガ拔ケテ居ルト云フコトハ珍ラシクナイノデアリマス、私ハドウカ拓務省ガモット強化サレタイ、ソレカラ各モ、兄弟同志ノ代表ガ拔ケテ居ルト云フコトハ珍ラシクナイノデアリマス、私ハドウ

○國務大臣（櫻内幸雄君） 下村サンノ私ニ  
對スル御質疑ニ對シテ御答ヲ致シマス、日本ニ於  
本ノ米穀政策ニ付キマシテハ、只今下村議  
員ノ御話ノ如ク、從來米ノ不足シタル場合、  
米ノ剩餘ヲ見タ場合ニ於キマシテ、各々異  
ナシタ政策ヲ執ツテ居リマス、之ニ鑑ミマシ  
テ所謂米穀法ガ生レ、米穀統制法ガ生レ、  
近ク米穀自治管理法案ガ生レタノアリマ  
スケレドモ、尙是ニテハ配給統制ガ十分デ  
ナイト考ヘマシテ、本議會ニ米穀配給統制  
法案ヲ出シタ次第アリマス、要シマスル  
ノニ米價ノ安定ヲ圖ルト云フ事柄ガ、是ハ當  
然必要ナコトアリマシテ、此ノ點ニ主眼ヲ  
置キマスト同時ニ、米ノ配給ヲ圓滑ニシテ、  
其ノ偏在ヲ防ギタク、斯様ナル趣旨ニ於テ  
今日進ンデ居ルノアリマスガ、全般的ニ  
申上ダマスト、大體ノ方針ト致シマシテ  
ハ、日本ノ内地、外地ヲ通ジテ生産シタル  
米ニ依ツテ其ノ需要ヲ充シタク、而シテ多  
少餘剩ノアルモノニ致シテ置キタク、斯様  
ニ考ヘテ居ル譯アリマス、從ヒマシテ常  
ニ朝鮮、臺灣、即チ外地ト内地トノ間に密  
接ナル關係ヲ執リマシテ、其ノ方針ニ  
進ミツツアルノニアリマス、從ヒマシテ今  
後ニ於キマス所ノ年々國民ノ増加ニ伴フ  
米ノ消費ノ増加ニ對シマシテモ、十分考慮  
ヲ拂ツテ案ヲ立テ居ル譯アリマス、唯御  
話ノ如ク農村ノ勞力ヲ節約シテ、而シテ之  
ヲ他ノ方面ニ於テ活動セシムル、即チ今下  
村サンノ御話ノ如ク、現在ノ農村ノ人口全  
部ヲ使ハズトモ、今日ノ生產ハ出來ルデハ  
ナイカト云フ風ナ議論モアルノアリマス、

併シナガラ實際問題ト致シマシテハ左様ニ  
簡單ニ參ラナインデアリマシテ、今日ニ於  
テハ實ニ農村ノ人々ガ如何ニ苦勞サレテ居  
ルカト云フコトニ付キマシテハ、私共見テ  
居ツテ感激ニ堪ヘナイヤウナ次第デアリマ  
ス、即チ今日農村ガ勞力ガ餘ツテ居ルト云フ  
スケレドモ、私ハ左様ニハ考ヘナインデアリマ  
ス、併シナガラ將來事變ガ濟ミマシテ、出  
征將士ガ歸國サレル、又重工業ニ從事サレ  
テ居ル人々ガ農村ニ歸ル場合ガアリト假定  
致シマスルナラバ、固ヨリ農村ニ於テハ多  
少ノ力ガ餘ルグラウト思ヒマス、從ヒマシ  
テ所謂分村移住計畫ト云フモノヲ立テマシ  
テ、滿洲ニ向ツテ移住ノ案ヲ立テ居ルノデ  
アリマスガ、所謂各村ニ於ケル所ノ、所有  
シテ居ル所ノ田畠ト人口トヲ睨み合ツテ、サ  
ウシテ其ノ餘剩ノアル村々ニ付テ滿洲移民  
ヲ致シタク、斯様ニ考ヘテ其ノ計畫ヲ進メ  
テ居ルヤウナ譯アリマス、固ヨリ將來ニ  
於キマシテハ單ニ内地、外地バカリデハナ  
ク、滿洲トハ離ルベカラザル關係ガアルノ  
デアリマスカラシテ、此ノ點ニ付キマシテ  
ハ之ヲ綜合的ニ見合ツテ、滿洲國トモ協議ヲ  
致シ、更ニ進ンデハ北支ナドトモ話合ヲ致  
シマシテ、今後ニ於ケル米穀ノ方針ヲ立テナ  
ケレバナラヌコトハ申ス迄モナイノデアリ  
マス、滿洲ハ尙開墾ノ餘地ノアルコトハ只  
今御話ノ通りデアリマシテ、私共モ非常ニ  
心強ク感ズルノアリマスルガ、只今ノ所  
デハマダ米ノ生產ハ極メテ幼稚デアリマシ  
テ、私ノ管轄デアリマセヌカラ正確ノ數字  
ハ存ジマセヌガ、大體ニ於テ昭和十二年ニ  
計畫ガ立テラレテ、私ハ只今日程ニ上リマシ  
タ臺灣米穀移出管理法案ニ對シテ贊成ヲ  
表

シテ此ノ田地ノ開墾及耕作ニ付キマシテハ、  
許可制度ニナツテ居ルノアリマシテ、日本  
ノ移民ト見合ツテ、向フノ米食者ノ需要トモ  
コトハ、私ハ左様ニハ考ヘナインデアリマ  
ス、併シナガラ將來事變ガ濟ミマシテ、出  
征將士ガ歸國サレル、又重工業ニ從事サレ  
テ居ル人々ガ農村ニ歸ル場合ガアリト假定  
致シマスルナラバ、固ヨリ農村ニ於テハ多  
少ノ力ガ餘ルグラウト思ヒマス、從ヒマシ  
テ所謂分村移住計畫ト云フモノヲ立テマシ  
テ、滿洲ニ向ツテ移住ノ案ヲ立テ居ルノデ  
アリマスガ、所謂各村ニ於ケル所ノ、所有  
シテ居ル所ノ田畠ト人口トヲ睨み合ツテ、サ  
ウシテ其ノ餘剩ノアル村々ニ付テ滿洲移民  
ヲ致シタク、斯様ニ考ヘテ其ノ計畫ヲ進メ  
テ居ルヤウナ譯アリマス、固ヨリ將來ニ  
於キマシテハ單ニ内地、外地バカリデハナ  
ク、滿洲トハ離ルベカラザル關係ガアルノ  
デアリマスカラシテ、此ノ點ニ付キマシテ  
ハ之ヲ綜合的ニ見合ツテ、滿洲國トモ協議ヲ  
致シ、更ニ進ンデハ北支ナドトモ話合ヲ致  
シマシテ、今後ニ於ケル米穀ノ方針ヲ立テナ  
ケレバナラヌコトハ申ス迄モナイノデアリ  
マス、滿洲ハ尙開墾ノ餘地ノアルコトハ只  
今御話ノ通りデアリマシテ、私共モ非常ニ  
心強ク感ズルノアリマスルガ、只今ノ所  
デハマダ米ノ生產ハ極メテ幼稚デアリマシ  
テ、私ノ管轄デアリマセヌカラ正確ノ數字  
ハ存ジマセヌガ、大體ニ於テ昭和十二年ニ  
計畫ガ立テラレテ、私ハ只今日程ニ上リマシ  
タ臺灣米穀移出管理法案ニ對シテ贊成ヲ  
表

シテ此ノ田地ノ開墾及耕作ニ付キマシテハ、  
許可制度ニナツテ居ルノアリマスカラ此ノ席方  
ラ御許シ願ヒタイト思ヒマス……

○下村宏君 簡單デアリマスカラ此ノ席方  
シテ滿足ノ意ヲ表シマス、尙更ニ申添ヘタ  
イ點モ少クナク、又多少御意見ヲ伺ヒタ  
節モアルノアリマスガ、此ノ際私ハ是デ  
質問ヲ止メテ置キマス

○議長（伯爵松平頼壽君） 是ニテ一時休憩  
ヲ致シマス、午後ハ二時ヨリ開會致シマス  
午後零時十三分休憩

午後二時十三分開議

○議長（伯爵松平頼壽君） 休憩前ニ引續キ  
マシテ開會致シマス、昨二十二日、正三位  
勳三等子爵豐岡圭資君薨去セラレマジタ、  
誠ニ哀悼ノ至リニ堪ヘマセス、就キマシテ  
ハ弔詞ヲ御贈リ致シタクト存シマス、御異  
議ハゴザイマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（伯爵松平頼壽君） 御異議ナイト認  
メマス

○議長（伯爵松平頼壽君） 日程第十、臺灣  
米穀移出管理特別會計法案、政府提出、衆  
議院送付、第一讀會ノ續、此ノ議事ヲ繼續  
致シマス、討論ノ通知ガゴザイマシタ、御  
許フシマス、永田秀次郎君

〔永田秀次郎君演壇ニ登ル〕

本會議並ニ委員會ニ於キマシテ種々ノ論議ガ行ハレ、或ハ本案ヲ以テ臺灣ノ統治上重ナル惡影響ヲ及スモノデナイカト迄論議サル、方モアリマシタノデアリマス、自分ハ二年程前ニ拓務ノ當局ニ居リマシタ責任上、此ノ際本案ニ對スル茲ニ贊意ノ理由ヲ申述ベルコトガ、自己ノ責務ト感ズルノデアリマス、本案ニ贊成致シマスル理由ノ第一點ハ、私ハ本案ヲ以テ臺灣米穀移出管理ヲスルコトガ、極メテ公正妥當ナル方策デアルト信ズルカラデアリマス、本案ノ骨子ヲ成ス所ハ、臺灣ノ米穀ヲ移出スルヤウナ移出米ニ對シテ、總督府ニ於テ移出米ヲ管理シ、サウシテ一定ノ價格、即チ生產費並ニ物價及經濟事情ヲ斟酌シタ其ノ一定ノ價格ニ於テ移出米ヲ買上げ、サウシテソレヲ更ニ二圓高ク賣ルト云フコトニナッテ居ルノガ其ノ内容デゴザリマス、之ニ對シテ或ハ此ノ二圓高ク賣ルト云フコトハ、要スルニ臺灣ノ農民カラ二圓ノ利益ヲ奪フ所ノ無理無理ハナイヤウニ思ヒマスルガ、併シ之ニ對シテハ米穀特有ノ種々ノ事情ガアリマスルカラ、非常ニ達觀シタル常識ガ必要デアルト思ヒマス、其ノ大局のノ達觀シタ常識ノ上ニ立ッテ、之ヲ判斷スベキモノデアルト考ヘマス、申ス迄モナク日本ノ米ト云フモノハ、日本人ニ絕對ニ必要ナモノデアルト、外ノモノヲ以テ代用スルコトガ出來ナイト云フ性質ヲ持テ居リマス、又餘タ時分ニ、之ヲ小麥ノ如クニ外國ニ賣ルト云フコトノ出來ナイ性質ヲ持ツテ居リマス、更ニ不足シタ時分ニハ、凶作モアルト云フト、ソレニ買占メ、賣リ惜ミガ伴ツテ、忽チ

米驥動ガ起ルト云ツタヤウナ結果ヲ起シ、サシテ豐作デアルト云フト、忽ニシテ暴大ナル惡影響ヲ及スモノデアリカト迄論議サル、方モアリマシタノデアリマス、自分ハ二年程前ニ拓務ノ當局ニ居リマシタ責任上、此ノ際本案ニ對スル茲ニ贊意ノ理由ヲ申述ベルコトガ、自己ノ責務ト感ズルノデアリマス、本案ニ贊成致シマスル理由ノ第一點ハ、私ハ本案ヲ以テ臺灣米穀移出管理ヲスルコトガ、極メテ公正妥當ナル方策デアルト信ズルカラデアリマス、本案ノ骨子ヲ成ス所ハ、臺灣ノ米穀ヲ移出スルヤウナ移出米ニ對シテ、總督府ニ於テ移出米ヲ管理シ、サウシテ一定ノ價格、即チ生產費並ニ物價及經濟事情ヲ斟酌シタ其ノ一定ノ價格ニ於テ移出米ヲ買上げ、サウシテソレヲ更ニ二圓高ク賣ルト云フコトニナッテ居ルノガ其ノ内容デゴザリマス、之ニ對シテ或ハ此ノ二圓高ク賣ルト云フコトハ、要スルニ臺灣ノ農民カラ二圓ノ利益ヲ奪フ所ノ無理無理ハナイヤウニ思ヒマスルガ、併シ之ニ對シテハ米穀特有ノ種々ノ事情ガアリマスルカラ、非常ニ達觀シタル常識ガ必要デアルト思ヒマス、其ノ大局のノ達觀シタ常識ノ上ニ立ッテ、之ヲ判斷スベキモノデアルト考ヘマス、申ス迄モナク日本ノ米ト云フモノハ、日本人ニ絕對ニ必要ナモノデアルト、外ノモノヲ以テ代用スルコトガ出來ナイト云フ性質ヲ持ツテ居リマス、又餘タ時分ニ、之ヲ小麥ノ如クニ外國ニ賣ルト云フコトノ出來ナイ性質ヲ持ツテ居リマス、更ニ不足シタ時分ニハ、凶作モアルト云フト、ソレニ買占メ、賣リ惜ミガ伴ツテ、忽チ

米驥動ガ起ルト云ツタヤウナ結果ヲ起シ、サシテ豐作デアルト云フト、忽ニシテ暴大ナル惡影響ヲ及スモノデアリカト迄論議サル、方モアリマシタノデアリマス、自分ハ二年程前ニ拓務ノ當局ニ居リマシタ責任上、此ノ際本案ニ對スル茲ニ贊意ノ理由ヲ申述ベルコトガ、自己ノ責務ト感ズルノデアリマス、本案ニ贊成致シマスル理由ノ第一點ハ、私ハ本案ヲ以テ臺灣米穀移出管理ヲスルコトガ、極メテ公正妥當ナル方策デアルト信ズルカラデアリマス、本案ノ骨子ヲ成ス所ハ、臺灣ノ米穀ヲ移出スルヤウナ移出米ニ對シテ、總督府ニ於テ移出米ヲ管理シ、サウシテ一定ノ價格、即チ生產費並ニ物價及經濟事情ヲ斟酌シタ其ノ一定ノ價格ニ於テ移出米ヲ買上げ、サウシテソレヲ更ニ二圓高ク賣ルト云フコトニナッテ居ルノガ其ノ内容デゴザリマス、之ニ對シテ或ハ此ノ二圓高ク賣ルト云フコトハ、要スルニ臺灣ノ農民カラ二圓ノ利益ヲ奪フ所ノ無理無理ハナイヤウニ思ヒマスルガ、併シ之ニ對シテハ米穀特有ノ種々ノ事情ガアリマスルカラ、非常ニ達觀シタル常識ガ必要デアルト思ヒマス、其ノ大局のノ達觀シタ常識ノ上ニ立ッテ、之ヲ判斷スベキモノデアルト考ヘマス、申ス迄モナク日本ノ米ト云フモノハ、日本人ニ絕對ニ必要ナモノデアルト、外ノモノヲ以テ代用スルコトガ出來ナイト云フ性質ヲ持ツテ居リマス、又餘タ時分ニ、之ヲ小麥ノ如クニ外國ニ賣ルト云フコトノ出來ナイ性質ヲ持ツテ居リマス、更ニ不足シタ時分ニハ、凶作モアルト云フト、ソレニ買占メ、賣リ惜ミガ伴ツテ、忽チ

米驥動ガ起ルト云ツタヤウナ結果ヲ起シ、サシテ豐作デアルト云フト、忽ニシテ暴大ナル惡影響ヲ及スモノデアリカト迄論議サル、方モアリマシタノデアリマス、自分ハ二年程前ニ拓務ノ當局ニ居リマシタ責任上、此ノ際本案ニ對スル茲ニ贊意ノ理由ヲ申述ベルコトガ、自己ノ責務ト感ズルノデアリマス、本案ニ贊成致シマスル理由ノ第一點ハ、私ハ本案ヲ以テ臺灣米穀移出管理ヲスルコトガ、極メテ公正妥當ナル方策デアルト信ズルカラデアリマス、本案ノ骨子ヲ成ス所ハ、臺灣ノ米穀ヲ移出スルヤウナ移出米ニ對シテ、總督府ニ於テ移出米ヲ管理シ、サウシテ一定ノ價格、即チ生產費並ニ物價及經濟事情ヲ斟酌シタ其ノ一定ノ價格ニ於テ移出米ヲ買上げ、サウシテソレヲ更ニ二圓高ク賣ルト云フコトニナッテ居ルノガ其ノ内容デゴザリマス、之ニ對シテ或ハ此ノ二圓高ク賣ルト云フコトハ、要スルニ臺灣ノ農民カラ二圓ノ利益ヲ奪フ所ノ無理無理ハナイヤウニ思ヒマスルガ、併シ之ニ對シテハ米穀特有ノ種々ノ事情ガアリマスルカラ、非常ニ達觀シタル常識ガ必要デアルト思ヒマス、其ノ大局のノ達觀シタ常識ノ上ニ立ッテ、之ヲ判斷スベキモノデアルト考ヘマス、申ス迄モナク日本ノ米ト云フモノハ、日本人ニ絕對ニ必要ナモノデアルト、外ノモノヲ以テ代用スルコトガ出來ナイト云フ性質ヲ持ツテ居リマス、又餘タ時分ニ、之ヲ小麥ノ如クニ外國ニ賣ルト云フコトノ出來ナイ性質ヲ持ツテ居リマス、更ニ不足シタ時分ニハ、凶作モアルト云フト、ソレニ買占メ、賣リ惜ミガ伴ツテ、忽チ

米驥動ガ起ルト云ツタヤウナ結果ヲ起シ、サシテ豐作デアルト云フト、忽ニシテ暴大ナル惡影響ヲ及スモノデアリカト迄論議サル、方モアリマシタノデアリマス、自分ハ二年程前ニ拓務ノ當局ニ居リマシタ責任上、此ノ際本案ニ對スル茲ニ贊意ノ理由ヲ申述ベルコトガ、自己ノ責務ト感ズルノデアリマス、本案ニ贊成致シマスル理由ノ第一點ハ、私ハ本案ヲ以テ臺灣米穀移出管理ヲスルコトガ、極メテ公正妥當ナル方策デアルト信ズルカラデアリマス、本案ノ骨子ヲ成ス所ハ、臺灣ノ米穀ヲ移出スルヤウナ移出米ニ對シテ、總督府ニ於テ移出米ヲ管理シ、サウシテ一定ノ價格、即チ生產費並ニ物價及經濟事情ヲ斟酌シタ其ノ一定ノ價格ニ於テ移出米ヲ買上げ、サウシテソレヲ更ニ二圓高ク賣ルト云フコトニナッテ居ルノガ其ノ内容デゴザリマス、之ニ對シテ或ハ此ノ二圓高ク賣ルト云フコトハ、要スルニ臺灣ノ農民カラ二圓ノ利益ヲ奪フ所ノ無理無理ハナイヤウニ思ヒマスルガ、併シ之ニ對シテハ米穀特有ノ種々ノ事情ガアリマスルカラ、非常ニ達觀シタル常識ガ必要デアルト思ヒマス、其ノ大局のノ達觀シタ常識ノ上ニ立ッテ、之ヲ判斷スベキモノデアルト考ヘマス、申ス迄モナク日本ノ米ト云フモノハ、日本人ニ絕對ニ必要ナモノデアルト、外ノモノヲ以テ代用スルコトガ出來ナイト云フ性質ヲ持ツテ居リマス、又餘タ時分ニ、之ヲ小麥ノ如クニ外國ニ賣ルト云フコトノ出來ナイ性質ヲ持ツテ居リマス、更ニ不足シタ時分ニハ、凶作モアルト云フト、ソレニ買占メ、賣リ惜ミガ伴ツテ、忽チ

シダ法案デアルト私ハ信ジマスルコトガ、即チ本案賛成ノ第二ノ理由デアリマス、之ニ付キマシテモ亦斯ウ云フ考へ方モアリマス、今時局ノ際ニ、米穀、食糧ガ多量ニアルコトガ必要ナノデアルカラ、出來易イ所デウント拵ヘサシタラバ宜イデヤナイカト云フヤウナ考へ方ガゴザイマス、是モ一應尤モナコトノヤウニモ思ハレマス、併シナガラナカノ米ト云フモノヲ判断スルノニハサウ簡單ナ狀態ニ參ラスト云フコトガ事實問題デゴザイマシテ、議論ヲシテ、是ガ方針ニ矛盾ヲシテ居ルトカ、矛盾ヲシテ居ラストカ云フモノデナクシテ、事實ニ立脚シテ是ガ正當ナル實際のモノデ有ルカ無イカト云フコドヲ判断スル必要ガアルト思ヒマス、極ク生々シイ實例デアリマスルガ、私ガ拓務省ニ居リマシタノハ僅ニ二年前ノコトデアリマス、然ルニ其ノ時ハ、米ノ相場が安クテ困ル、ソレデ内地デハ減反ヲシロ、米ヲ作ル所ノ反別ヲ減ラセト云フヤウナ議論ガ行ハレマシタ、又朝鮮ニ於キマシテハ產米增收計畫ト云フモノガアッタノヲ、ソレヲ中止シテ、水利ヲ利用スルト云フヤウナ施設ヲ一切廢メテシマツタノデアリマス、又臺灣ニ於キマシテモ有ラユル米穀増産ノ施設ヲ……、水利竝ニ各增産ノ施設ヲ、是ハ進ンデ禁止シテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ状感ヲ經テ、ドウニカスウニカ、米價ヲ餘リニ安クナラヌヤウニト云フコトニ付テ、色々ノ論難ヲ時自分ガ當局者トシテ屢々兩院ニ於テ、何故蒙古ノデアリマス、是ガ僅カ二年前ノ事柄デゴザイマス、然ルニ今日ハ之ニ反シテ何

故ニ臺灣ニ自由ニ米ヲ作ラサナイカト云フ方面カラ、反對ノ方面カラノ論議ヲ聽クニ至リマシテハ、誠ニ今昔ノ感ニ堪ヘマセヌ、デ是ガ又更ニ今二年ヲ經過シタ時分ニハドンテ風ガ吹キマスカ、我々ハ之ヲドウモ斷言スルコトガ出來ナイノデゴザイマス、デ若シ之ヲ自由ニ放任シテ統制ノ策ヲ採ラズシテ、出來ル所デ米ヲ作ラスト云フヤウナ方策ヲ採リマシタラバ、恐ラクハ臺灣ニ於テハ滔々トシテ決河ノ如キ勢ヲ以テ米ガ激増スルニ相違ナイト考へラレマス、今年ハソレデ宜イカモ知レマセヌ、併シナガラ是ガ又二年位經タ先ニ于テ、餘りニ臺灣ニ澤山ノ米ガ出來タ、サウシテ内地ニ於テハ重工業ノ人ガ餘ツテ來タトカ、或ハ戰地カラ戻ツテ來タ、労力ガ十分ニナッテ來タト云フヤウナ場合ニ、又復二年前ノ相當リマス、故ニ二年前ノ餘リニ苦シキ経験、苦キ経験ヲ嘗メテ居リマスルト、今日其ノ事ト云フコトヲ私ハ憂ヘザルヲ得ナイノデアリマス、又今日以上ノ困難ニ蓬著スルコトノナキヤトケロリト忘レテシマフノハ餘リニ健忘症ト云フコトヲ私ハ憂ヘザルヲ得ナイノデアリマス、是ハ臺灣ニ米ヲ作ラスト云フコトヲ考へテ見マスルト、增産計畫ヲ立テルニ於キマシテモ、内地ニモ矢張リ增産計畫ヲ立テサス、臺灣ニモ、朝鮮ニモ增産計畫ヲ立テサストアリマス、デ私ハサウ云フコトヲ考へテ見マスルト、增産計畫ヲ立テルニ於キマシテモ、内地ニモ矢張リ増産計畫ヲ立テサス、臺灣ニモ、朝鮮ニモ增産計畫ヲ立テサストアリマス、是ハ臺灣ニモトク作ラサナイコトガ、矛盾ノヤウニモ考へラレルノデアリマスケレドモ、ソコガ即チ米穀ノ特殊性デニカ、米價ヲ餘リニ安クナラヌヤウニト云フコトニ付テ、色々ノ論難ヲ時自分ガ當局者トシテ屢々兩院ニ於テ、何故臺灣ニ米ヲ作ラスカ、コンナニ澤山米ヲ作ラスカト云フコトニ付テ、色々ノ論難ヲ時自分ガ當局者トシテ屢々兩院ニ於テ、何故

故ニ臺灣ニ自由ニ米ヲ作ラサナイカト云フ方面カラ、反對ノ方面カラノ論議ヲ聽クニ至リマシテハ、誠ニ今昔ノ感ニ堪ヘマセヌ、デ是ガ又更ニ今二年ヲ經過シタ時分ニハドンテ風ガ吹キマスカ、我々ハ之ヲドウモ断言スルコトガ出來ナイノデゴザイマス、デ若シ之ヲ自由ニ放任シテ統制ノ策ヲ採ラズシテ、出來ル所デ米ヲ作ラスト云フヤウナ方策ヲ採リマシタラバ、恐ラクハ臺灣ニ於テハ滔々トシテ決河ノ如キ勢ヲ以テ米ガ激増スルニ相違ナイト考へラレマス、今年ハソレデ宜イカモ知レマセヌ、併シナガラ是ガ又二年位經タ先ニ于テ、餘りニ臺灣ニ澤山ノ米ガ出來タ、サウシテ内地ニ於テハ重工業ノ人ガ餘ツテ來タトカ、或ハ戰地カラ戻ツテ來タ、労力ガ十分ニナッテ來タト云フヤウナ場合ニ、又復二年前ノ相當リマス、故ニ二年前ノ餘リニ苦シキ経験、苦キ経験ヲ嘗メテ居リマスルト、今日其ノ事ト云フコトヲ私ハ憂ヘザルヲ得ナイノデアリマス、是ハ今日以上ノ困難ニ蓬著スルコトノナキヤトケロリト忘レテシマフノハ餘リニ健忘症ト云フコトヲ私ハ憂ヘザルヲ得ナイノデアリマス、是ハ臺灣ニ米ヲ作ラスト云フコトヲ考へテ見マスルト、增産計畫ヲ立テルニ於キマシテモ、内地ニモ矢張リ増産計畫ヲ立テサス、臺灣ニモ、朝鮮ニモ增産計畫ヲ立テサストアリマス、是ハ臺灣ニモトク作ラサナイコトガ、矛盾ノヤウニモ考へラレルノデアリマスケレドモ、ソコガ即チ米穀ノ特殊性デニカ、米價ヲ餘リニ安クナラヌヤウニト云フコトニ付テ、色々ノ論難ヲ時自分ガ當局者トシテ屢々兩院ニ於テ、何故臺灣ニ米ヲ作ラスカ、コンナニ澤山米ヲ作ラスカト云フコトニ付テ、色々ノ論難ヲ時自分ガ當局者トシテ屢々兩院ニ於テ、何故

故ニ臺灣ニ自由ニ米ヲ作ラサナイカト云フ方面カラ、反對ノ方面カラノ論議ヲ聽クニ至リマシテハ、誠ニ今昔ノ感ニ堪ヘマセヌ、デ是ガ又更ニ今二年ヲ經過シタ時分ニハドンテ風ガ吹キマスカ、我々ハ之ヲドウモ断言スルコトガ出來ナイノデゴザイマス、デ若シ之ヲ自由ニ放任シテ統制ノ策ヲ採ラズシテ、出來ル所デ米ヲ作ラスト云フヤウナ方策ヲ採リマシタラバ、恐ラクハ臺灣ニ於テハ滔々トシテ決河ノ如キ勢ヲ以テ米ガ激増スルニ相違ナイト考へラレマス、今年ハソレデ宜イカモ知レマセヌ、併シナガラ是ガ又二年位經タ先ニ于テ、餘りニ臺灣ニ澤山ノ米ガ出來タ、サウシテ内地ニ於テハ重工業ノ人ガ餘ツテ來タトカ、或ハ戰地カラ戻ツテ來タ、労力ガ十分ニナッテ來タト云フヤウナ場合ニ、又復二年前ノ相當リマス、是ハ今日以上ノ困難ニ蓬著スルコトノナキヤトケロリト忘レテシマフノハ餘リニ健忘症ト云フコトヲ私ハ憂ヘザルヲ得ナイノデアリマス、是ハ臺灣ニ米ヲ作ラスト云フコトヲ考へテ見マスルト、增産計畫ヲ立テルニ於キマシテモ、内地ニモ矢張リ増産計畫ヲ立テサス、臺灣ニモ、朝鮮ニモ增産計畫ヲ立テサストアリマス、是ハ臺灣ニモトク作ラサナイコトガ、矛盾ノヤウニモ考へラレルノデアリマスケレドモ、ソコガ即チ米穀ノ特殊性デニカ、米價ヲ餘リニ安クナラヌヤウニト云フコトニ付テ、色々ノ論難ヲ時自分ガ當局者トシテ屢々兩院ニ於テ、何故臺灣ニ米ヲ作ラスカ、コンナニ澤山米ヲ作ラスカト云フコトニ付テ、色々ノ論難ヲ時自分ガ當局者トシテ屢々兩院ニ於テ、何故



讀會ヲ開クコトニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒ

マス

〔起立者多數〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 過半數ト認メマ

ス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀

會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平頼壽君) 西大路子爵ノ動

議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 本案ノ第一讀會

ヲ開キマス、御異議ガナケレバ全部ヲ問題ニ供シマス、本案全部、委員長報告通リデ

御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 本案ノ第三讀

會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平頼壽君) 西大路子爵ノ動

議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 本案ノ第三讀會

ヲ開キマス、本案全部、第二讀會ノ決議通

リテ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 日程第十一、地

方學事通則中改正法律案、日程第十二、青

年學校令ニ依リ就學セシメラルベキ者ノ就

業時間ニ關スル法律案、政府提出、衆議院

送付、第一讀會ノ續、委員長報告、是等ノ

二案ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ゴ

デイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認

メマス、副委員長清岡子爵

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 地方學事通則中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及

報告候也

昭和十四年三月二十一日

委員長 侯爵徳川 義親

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

青年學校令ニ依リ就學セシメラルベキ

者ノ就業時間ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及

報告候也

昭和十四年三月二十二日

委員長 侯爵徳川 義親

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

青年學校令ニ依リ就學セシメラルベキ

者ノ就業時間ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及

報告候也

昭和十四年三月二十二日

委員長 侯爵徳川 義親

青年學校令ニ依リ就學セシメラルベキ

者ノ就業時間ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及

報告候也

案ノ特別委員會ハ昨二十二日開會致シマシ

テ、厚生大臣及文部當局カラソレト法案

提出ノ理由ヲバ承リマシタ、曩ニ本院ニ於

テ可決致サレマシタ青年學校教育費國庫補

助法案ト密接ナル關係ヲ持シテ居リマスル

法案デ、自然其ノ際質問ガ含マレマシテ、

盡サレテ居リマシテ、此ノ兩案ニ對シマシ

テハ大ナル質問ハナカツタノデアリマス、而

シテ全會一致ヲ以チマシテ可決致シタ次第

デゴザイマス、今兩案ノ內容ヲバ極ク簡單

ニ御説明申上ゲヨウト存ジマス、地方學事

通則中改正法律案、此ノ法律ハ昭和十四年

度カラ一定ノ範圍ノ男子青年ニ對シマシテ、

青年學校ニ於ケル教育ヲ受クル義務制ノ實

施ニ當リマシテ、青年學校生徒ノ教育事務

ヲ、市町村ノ狀況ニ依リマシテ之ヲ他ノ市

町村等ニ委託スルコトヲ得ルト云フ途ヲ開

ク爲ニ、地方學事通則第五條中ノ「兒童教

育事務」トアリマシタノフ「兒童生徒教育事

務」即チ生徒ノ二字ヲ加ヘルコトニ改メタ

ノデアリマス、而シテ之ヲバ青年學校ニ適

用スルト云フコトニシタイト、斯ウ云フ改

正案デアリマス、尙此ノ機會ニ於キマシテ

字句ノ整理ヲ行フ爲ニ同法第九條中ノ「郡」

ト第十條中ノ「郡制」ノ二字ヲ削ル、斯様ナ

極ク簡單ナ改正案デゴザイマス、次ニ青年

學校令ニ依リ就學セシメラルベキ者ノ就業

時間ノ制限ニ關スル法律案、此ノ法律案ノ

内容ヲ申上ゲマス、青年學校ノ義務制ハ只

今申シマシタ通り昭和十四年度ヨリ實施セ

ラルコトノ豫定デアリマス、現在工場、礦山、又ハ商

店等デ勤イテ居ル十六歳未滿ノ者ニハ、既

云フコトハ、產業上ノ影響、教育上ノ關係

ニ工場法ヤ礦業法、又ハ商店法ニ依ッテ就業

時間ヲバ十一時間ト云フ制限ヲ設ケテアル

年學校ノ就學ヲバ、義務トシテ是等ノ者ニ

命ズル場合ニ於キマシテ、其ノ者ノ就業時

間ニ對シ新タニ制限ヲ設ケナイト、勢ヒ是

等ノ年少者ハ勞働時間ニ、更ニ今回ノ義務

制ニ依ル教育ヲ受クルコトナルノデアリ

マス、サウ致シマスルト其ノ結果ハ年少者

ニ心身ノ負擔ヲバ、一層重ク負ハシメンケ

レバナラヌト云フコトニ相成ルノデアリマ

ス、一體青年學校ヲバ義務制ニシムルコトガ今日我

ガ国情ニ鑑ミマシテ、極メテ緊要ノコトト

考ヘルノデアリマス、就學セシメラル、者

ニ對シマシテハ、適當ナル保護ヲ與ヘヌケ

レバ折角教育ヲ施シマシテモ、身體ヲバ疲

労セシメ又壞シテシマフト云フコトニ相成ツ

テハ何ノ效果モナイノデアリマス、此ノ見

地カラ見マシテ青年學校令ニ依リ就學セシ

トニスルト云フ法律案デゴザイマス、之ヲ要

スルニ青年學校デ受ケル所ノ十六歳未滿ノ

者ノ授業時間ヲ、就業時間ノ中ニ含ヌル

練時間ハ、之ヲ就業時間ト同一ニ取扱フコ

ト云フ法律案デゴザイマス、之ニ對シマシ

テ一委員ヨリ十六歳以下トセズニ、十七歳

以上ニモ之ヲ適用スル必要ガアルト思フガ

政府ハドウ思フカト云フ質問デアリマシタ、

之ニ對シマシテ厚生大臣ハ、十六歳以下ハ

保護職工デ、是レ以上ニ保護ヲ廣クスル

リテ御異議ガゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

官報號外 昭和十四年三月二十四日 貴族院議事速記録第一十八號 地方學事通則中改正法律案外一件 第一讀會ノ續

等ニモ大イニ考慮ヲ要セシケレバナラス、 是ハ他日ノ問題トシテ大イニ考究シタイ、 斯ウ云フ答辯デアリマシタ、斯クシテ兩案 ハ前刻申シマジタ通り、全會一致ヲ以テ可 決致シタノデゴザリマス、以上ヲ以チマシ テ特別委員會ノ御報告ヲ終リマス	○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナ ケレバ兩案ノ採決ヲ致シマス、兩案ノ第二 讀會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセヌカ	○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナ ケレバ兩案ノ採決ヲ致シマス、兩案ノ第二 讀會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ	〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ	〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認 メマス	○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認 メマス	○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認 メマス
○子爵西大路吉光君 直チニ兩案ノ第二讀 會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス	○子爵植村家治君 贊成	○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動 議ニ御異議ゴザイマセヌカ
○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動 議ニ御異議ナシト呼フ者アリ	○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動 議ニ御異議ナシト呼フ者アリ	○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動 議ニ御異議ナシト呼フ者アリ
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認 メマス	○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認 メマス	○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認 メマス
○議長(伯爵松平賴壽君) 两案ノ第一讀會 ヲ開キマス、兩案全部、第二讀會ノ決議通 リテ御異議ゴザイマセヌカ	○議長(伯爵松平賴壽君) 兩案ノ第三讀會 ヲ開キマス、兩案全部、第二讀會ノ決議通 リテ御異議ゴザイマセヌカ	○議長(伯爵松平賴壽君) 兩案ノ第三讀會 ヲ開キマス、兩案全部、第二讀會ノ決議通 リテ御異議ゴザイマセヌカ
○議長(伯爵松平賴壽君) 報告ヲ致サセマ ス	○議長(伯爵松平賴壽君) 報告ヲ致サセマ ス	○議長(伯爵松平賴壽君) 報告ヲ致サセマ ス
〔丸龜書記官朗讀〕	〔丸龜書記官朗讀〕	〔丸龜書記官朗讀〕
本日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ 關稅定率法中改正法律案	昭和十四年法律第二號中改正法律案 昭和七年法律第四號中改正法律案	昭和七年法律第四號中左ノ通改正ス 別表輸入稅表番號第十九號ノ項ノ次ニ左 ノ一項ヲ加フ
關稅定率法中改正法律案 關稅定率法別表輸入稅表中左ノ通改正ス 第十七號ノ二ヲ左ノ如ク改ム	貴族院議長伯爵松平賴壽殿 昭和十四年三月二十三日 衆議院議長 小山 松壽	貴族院議長伯爵松平賴壽殿 昭和七年法律第四號中左ノ通改正ス 別表輸入稅表番號第十九號ノ項ノ次ニ左 ノ一項ヲ加フ
一七ノ二 粟、黍及稗	(小字及一ハ衆議院ノ修正ナリ)	二二 豆類
一 粟 每百斤 無 稅 ○・五〇	昭和七年法律第四號ハ輸入稅ノ從量稅 率ニ關スル法律ナリ	三 麸豆
二 其ノ他	○政府委員(松村光三君演壇ニ登る) 昭和七年法律第四號ハ輸入稅ノ從量稅 率ニ關スル法律ナリ	同第九十五號ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ 一〇二 棉子油
第三十一號第四項中「每百斤」ヲ削リ「〇・六五」ヲ「無稅」ニ改ム 第三十三號中「每百斤」ヲ削リ「〇・五〇」ヲ「無稅」ニ改ム 第二十四號中「每百斤」ヲ削リ「〇・五〇」ヲ「無稅」ニ改ム 第二十七號ノ二中「從價」ヲ削リ「一割」ヲ「無稅」ニ改ム 第九十七號中「蓖麻子油」ヲ「ヒマシ油」ニ改メ同號第一項中「每百斤」ヲ削リ「一・一〇」 ヲ「無稅」ニ改ム	本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス 附則	一一 一〇二 棉子油
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認 メマス	參照	二二 豆類
○子爵西大路吉光君 直チニ兩案ノ第三讀 會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス	昭和七年法律第四號ハ輸入稅ノ從量稅 率ニ關スル法律ナリ	三 麸豆
○子爵植村家治君 贊成	○政府委員(松村光三君演壇ニ登る) 昭和七年法律第四號ハ輸入稅ノ從量稅 率ニ關スル法律ナリ	同第九十五號ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ 一〇二 棉子油
○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動 議ニ御異議ゴザイマセヌカ	昭和七年法律第四號ハ輸入稅ノ從量稅 率ニ關スル法律ナリ	二二 豆類
○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動 議ニ御異議ナシト呼フ者アリ	昭和七年法律第四號ハ輸入稅ノ從量稅 率ニ關スル法律ナリ	二二 豆類
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス 附則	昭和七年法律第四號ハ輸入稅ノ從量稅 率ニ關スル法律ナリ	二二 豆類
昭和七年法律第四號ハ輸入稅ノ從量稅 率ニ關スル法律ナリ	昭和七年法律第四號ハ輸入稅ノ從量稅 率ニ關スル法律ナリ	二二 豆類
右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因 テ第一讀會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセ ヌカ	昭和七年法律第四號中改正法律案 昭和七年法律第四號中左ノ通改正ス 別表輸入稅表番號第十九號ノ項ノ次ニ左 ノ一項ヲ加フ	昭和七年法律第四號中左ノ通改正ス 別表輸入稅表番號第十九號ノ項ノ次ニ左 ノ一項ヲ加フ
貴族院議長伯爵松平賴壽殿 昭和十四年三月二十三日 衆議院議長 小山 松壽	貴族院議長伯爵松平賴壽殿 昭和七年法律第四號中左ノ通改正ス 別表輸入稅表番號第十九號ノ項ノ次ニ左 ノ一項ヲ加フ	貴族院議長伯爵松平賴壽殿 昭和七年法律第四號中左ノ通改正ス 別表輸入稅表番號第十九號ノ項ノ次ニ左 ノ一項ヲ加フ
昭和七年法律第四號中改正法律案 昭和七年法律第四號中改正法律案 昭和七年法律第四號中左ノ通改正ス 別表輸入稅表番號第十九號ノ項ノ次ニ左 ノ一項ヲ加フ	昭和七年法律第四號中左ノ通改正ス 別表輸入稅表番號第十九號ノ項ノ次ニ左 ノ一項ヲ加フ	昭和七年法律第四號中左ノ通改正ス 別表輸入稅表番號第十九號ノ項ノ次ニ左 ノ一項ヲ加フ
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議 院法第五十四條ニ依リ及送付候也	昭和七年法律第四號中左ノ通改正ス 別表輸入稅表番號第十九號ノ項ノ次ニ左 ノ一項ヲ加フ	昭和七年法律第四號中左ノ通改正ス 別表輸入稅表番號第十九號ノ項ノ次ニ左 ノ一項ヲ加フ

法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、  
次ニ昭和七年法律第四號、即チ輸入税ノ從  
量税率ニ關スル件ノ改正法律案ニ付キマシ

テ御説明致シマス、現在蠶豆及棉子油ハ本  
法ニ依シテ、關稅定率法ニ定ムル税率ノ三割  
五分ノ增課ヲ受ケテ居リマスガ、前ニ申シ

マシタト同様ノ趣旨ニ依シテ、日滿支三國間  
ノ物資ノ調整ニ資スル爲、是等ヲ本法ノ別  
表ニ追加シ、以テ三割五分ノ增課ノ範圍カ  
ラ除外スルヲ適當ト認メマシタ次第デアリ  
マス、何卒御審議ノ上速カニ御協賛ヲ與ヘ  
ラレムコトヲ希望致シマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御質疑モナ  
ケレバ、兩案ハ之ヲ災害被害者ニ對スル租  
稅ノ減免徵收猶豫等ニ關スル法律案外八件  
ノ特別委員ニ併託致シマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 衆議院ヨリ送付  
ヲ受ケマシタ政府提出ニ係ル昭和十四年法  
律第一號中改正法律案ヲ、此ノ際議事日程  
ニ追加シテ一讀會ヲ開クコトニ御異議ガゴ  
ザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ。

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認  
メマス、松村大藏政務次官

昭和十四年法律第二號中改正法律案  
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議  
院法第五十四條ニ依リ及送付候也。  
昭和十四年三月二十三日

衆議院議長 小山 松壽  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿

昭和十四年法律第二號中改正法律案  
昭和十四年法律第二號中左ノ通改正ス  
昭和十四年法律第二號中左ノ通改正ス

第一條中「七億九千五百八十萬圓」ヲ「九  
億八千四百九十九萬圓」ニ改ム

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

#### 附 則

#### 參 照

昭和十四年法律第二號ハ昭和十四年度  
一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發  
行ニ關スル法律ナリ

〔政府委員松村光三君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松村光三君) 只今議題トナリ  
マシタ昭和十四年法律第二號中改正法律  
案、提案理由ヲ御説明致シマス、昭和十四  
年度一般會計總豫算及同追加豫算第一號ニ  
計上致シマシタル歲出ノ財源ニ充ツル爲必  
要ナル公債ノ發行ニ付キマシテハ、今朝議  
會ニ於テ既ニ二回ニ瓦リ之ニ關スル法律案  
ヲ提出致シタノデアリマスルガ、今回別途  
提出ノ第二號追加豫算案ニ計上シテアリマ  
スル經費ノ所要財源總額中、千二十餘萬圓  
ニ付キマシテハ、普通歲入及道路公債法ニ  
依ル公債金ヲ以テ充當シ、一億八千九百餘  
萬圓ニ付キマシテハ、今日ノ場合之ヲ歲入  
補填公債ノ財源ニ依ルノ外アリマセヌノ  
デ、既ニ公布セラレマシタル昭和十四年法  
律第二號ノ公債發行限度法定額ヲ、九億八  
千四百九十九萬圓ニ増額スル爲、本法律案ト  
致シマシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ  
上、速カニ協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望致  
シマス

○子爵戸澤正己君 只今議題トナリマシタ  
昭和十四年法律第二號中改正法律案ハ、關  
聯致シマスル所ガアリマス爲ニ、昭和十四

年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發  
行ニ關スル法律案外一件ノ特別委員ニ併託  
セラレムコトノ動議ヲ提出致シマス

○子爵植村家治君 贊成

○議長(伯爵松平賴壽君) 戸澤子爵ノ動議  
ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕  
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイモノ  
ト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第十三ヨリ  
日程第四十二迄ノ諸請願、會議  
〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモノ  
参照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣  
フ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第十三ヨリ  
日程第四十二迄ノ諸請願、會議  
〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモノ  
参照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣  
フ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第十三ヨリ  
日程第四十二迄ノ諸請願、會議  
〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモノ  
参照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣  
フ〕

意見書案

廣告物取締ニ關スル法令改正ノ件

東京市小石川區原町百二十六番地男

爵阪谷芳郎呈出

右ノ請願ハ輓近都市ニ於ケル廣告看板等

ハ産業ノ發達ニ伴ヒ其ノ種類表現方法多

様トナリタルニ拘ラズ廣告物取締法ハ制

定後既ニ久シク現今ノ實情ニ副ハサルノ

ミナラス其ノ運用ニ關スル地方廳令區區

ナルハ遺憾ナルニ依リ之等法令ノ改正ヲ

行ヒ取締ノ基準ヲ確立シ以テ風致及都市

美ノ顯現竝廣告文化ノ向上ヲ圖ラレタシ

トノ旨趣ニジテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採

擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六  
十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

内閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

宮城縣女川港修築ニ關スル件

宮城縣牡鹿郡女川町長松川裕呈出

内閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

右ノ請願ハ横濱、函館兩港ノ中間ニ位ス

ル宮城郡牡鹿郡女川港ハ北日本太平洋岸

ニ於ケル天然ノ良港ニシテ灣外一帶ニ豐

富ナル海田ヲ擁スルノミナラス女川沿線

鐵道ノ完通ト相俟テ將來ノ發展期斯ヘキ

シトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ

採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第

六十五條ニ依リ別冊及送付候也

意見書案  
學校養護婦令制定ノ件

東京市芝園芝公園二十三號地東京市

教育局體育課内平民杉田武義外一名  
呈出

右ノ請願ハ小學校ニ於ケル虛弱兒童ノ激  
増、結核病ノ蔓延、一般學童ノ體位低下  
等ノ現狀ニ鑑ミ之カ對策ヲ講スルハ緊要  
事ナルニ拘ラズ學校養護婦ニ對スル職制  
未制定セラレサルハ甚遺憾ナルニ依リ學校  
衛生ノ關鍵ヲ等シク把握セル學校醫並學  
校教員ノ職務規定ノ如ク速ニ學校養護婦  
令ヲ制定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族  
院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決  
致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及  
送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

右ノ請願ハ横濱、函館兩港ノ中間ニ位ス

ル宮城郡牡鹿郡女川港ハ北日本太平洋岸

ニ於ケル天然ノ良港ニシテ灣外一帶ニ豐

富ナル海田ヲ擁スルノミナラス女川沿線

鐵道ノ完通ト相俟テ將來ノ發展期斯ヘキ

シトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ

採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第

六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年月日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣男爵平沼駿一郎殿

## 意見書案

釜石港ニ防浪建築建設ノ件

岩手縣釜石市大字釜石第三地割八十五番地平民公吏小野寺有一外百七十五名呈出

右ノ請願ハ釜石港ハ東北地方太平洋岸ニ

於ケル産業經濟ノ中樞地點ナルニ拘ラス古來週期的ニ襲來スル津浪ノ爲人命財產ノ損傷多大ニシテ居常住民ノ不安著シキモノアルハ地方發展上甚遺憾ナルニ依リ同港ノ海岸要部一帶ニ防浪建築ヲ建設スルニ補助助成セラレタントノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年月日 貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣男爵平沼駿一郎殿

## 意見書案

渡良瀬川改修ニ關スル件  
群馬縣桐生市長關口義慶二外八名呈出

由

渡良瀬川改修ニ關スル件

右ノ請願ハ草木枯死セル爲降雨毎土砂崩壊シテ河床ヲ高メ幅員ヲ擴大シ水害ノ慘禍相踵キ沿岸住民ノ困窮一方ナ

ヲサルニ依リ速ニ栃木縣足利郡毛野村、群馬縣山田郡大間々町間ノ改修工事ヲ實施セラレタントノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因

テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也  
昭和十四年月日 貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣男爵平沼駿一郎殿

## 意見書案

岩手縣釜石市大字釜石第三地割八十五番地平民公吏小野寺有一外百七十五名呈出

右ノ請願ハ釜石港ハ東北地方太平洋岸ニ

於ケル産業經濟ノ中樞地點ナルニ拘ラス古來週期的ニ襲來スル津浪ノ爲人命財產ノ損傷多大ニシテ居常住民ノ不安著シキモノアルハ地方發展上甚遺憾ナルニ依リ同港ノ海岸要部一帶ニ防浪建築ヲ建設スルニ補助助成セラレタントノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年月日 貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣男爵平沼駿一郎殿

## 意見書案

北海道浦河漁港修築ニ關スル件  
北海道浦河郡浦河町長荻丹榮呈出

右ノ請願ハ北海道浦河郡浦河漁港ハ昭和五年竣工以來漁業根據地竝避難港トシテ出入船泊激増セルニ拘ラス港内ノ水深浅ク岩礁點在セルノミナラス南北防波堤全體ニ低ク加之船入澗狹小ナル爲一朝風浪ニ際會セムカ碇泊船舶ノ衝突、破壊、沈没等被害少カラサルニ依リ速ニ同港ノ擴張改良工事ヲ施行セラレタントノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年月日 貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣男爵平沼駿一郎殿

## 意見書案

國道四號線中盛岡市、沼宮内町間道路改良ノ件  
岩手縣盛岡市長大矢馬太郎外七名呈出

右ノ請願ハ國道四號線中盛岡市、沼宮内町間道路改良ノ件

右ノ請願ハ國道四號線中岩手縣盛岡市、

沼宮内町間ノ道路ハ同縣北部ニ於ケル唯  
一ノ重要幹線ニシテ沿線地方ニハ農、畜、林、礦產ノ富源ヲ擁シ逐年交通繁劇トナ施セラレタントノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因  
テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也  
昭和十四年月日 貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣男爵平沼駿一郎殿

## 意見書案

北海道函館市ハ北門ノ鎖鑰、

東北ノ重要都市ニシテ水產並工業ノ進展

ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ

クシテ危險少カラサルニ依リ該道路ノ鋪

裝設改良工事ヲ施行セラレタントノ旨趣

ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ

レルニ拘ラス路面著シク頽廢シテ交通機

關屢杜絶シ剩ヘ東北本線鐵道トノ交叉多

モノテ危険少カラサルニ依リ最適地

依リ別冊及送付候也

昭和十四年月日 貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣男爵平沼駿一郎殿

## 意見書案

北海道函館市長齋藤與一郎外一名呈出

右ノ請願ハ北海道函館市ハ北門ノ鎖鑰、

東北ノ重要都市ニシテ水產並工業ノ進展

著シク且東北、北海道、樺太一圓ニ瓦リ

豊富ナル工業資源等ヲ擁シ工業専門教育

機關ノ所要切ナルモノアルニ依リ最適地

ナル函館市ニ速ニ官立高等工業學校ヲ設

置セラレタントノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因

テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年月日 貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣男爵平沼駿一郎殿

## 意見書案

北海道函館市長齋藤與一郎外一名呈出

右ノ請願ハ我日本人ニシテ異鄉ノ土ト化

ノ件 東京市日本橋區蠣殻町二丁目九番地

平民主地天逸外二名呈出

シ而モ遺族故舊等無キ爲其ノ靈ヲ祭ラレ

サル者尠カラサルハ啻ニ故人ノ不幸ナル

ノミナラス延テハ邦人ノ海外發展及在外

同胞ノ活動ヲ阻害スルコト多大ナルニ依

リ普ク其ノ精靈ヲ供養スル爲慰靈堂建立

ヲ計畫中ナル大日本海外同胞物故者慰靈

堂建立會ニ對シ政府ヨリ相當ノ助成金ヲ

下付セラレタントノ旨趣ニシテ貴族院ハ

願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候

意見書案

北海道函館市ニ官立高等工業學校設置ノ件

北海道函館市長齋藤與一郎外一名呈出

右ノ請願ハ國道十五號線中和歌山市、高野口町間

道路鋪裝ノ件 和歌山縣伊都郡山田村長堀内彌平治

外六名呈出

右ノ請願ハ國道十五號線中和歌山市、高

野口町間道路ハ曩ニ改良工事ノ施行ヲ見

タルモ路面ハ今尙泥土或ハ岩片、小礫

亂雜ヲ極メ爲ニ自動車ノ損傷、揮發油ノ

消費量多大ナルノミナラス道路維持費

モ亦倍加スルノ實情ニ在ルハ遺憾ナルニ

依リ速ニ之力鋪裝工事ヲ施行セラレタシ

トノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採

擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六

十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣男爵平沼駿一郎殿

意見書案

公共圖書館費國庫補助法制定ノ件

東京市大森區雪ヶ谷町七十番地官吏

右ノ請願ハ學校ト共ニ國民教育ヲ完成ス

ヘキ重要機關ナル公共圖書館ハ社會教育

ノ中心機關トシテ國運發展上等閑視スヘ

カラサルモノナルニ未國庫補助ノ途ナク

其ノ施設十分ナラサルハ學校教育費等ノ

補助アルニ比シ均衡ヲ失スルノミナラス

亦國民文化ノ發達上甚遺憾ナルニ依リ速

ニ公共圖書館費國庫補助法ヲ制定セラレ

タシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體

ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法

第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣男爵平沼駿一郎殿

意見書案

大楠公史蹟顯彰ニ關スル件

大阪府南河内郡川西村長内田愛藏外

四十三名呈出

右ノ請願ハ現下ノ時局ニ鑑ミ大楠公精神  
ノ鼓吹ヲ圖ルハ最緊要事ナリ而シテ公ノ

遺蹟中天野山金剛寺境内、觀心寺境内、  
千早城跡、楠木城跡、赤坂城跡、櫻井驛  
跡八單ニ史蹟トシテ指定セラルルニ止リ

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣男爵平沼駿一郎殿

未之カ顯彰ノ方法ヲ講セサルハ甚遺憾ナ

ルニ依リ速ニ國費ヲ以テ之カ維持ノ方法

ヲ計リ忠臣大楠公ノ事蹟ヲ追慕スルト共

ニ日本精神作興ニ資セラレタシトノ旨趣

ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモ

モノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ

依リ別冊及送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣男爵平沼駿一郎殿

意見書案

林道網計畫樹立實施ニ關スル件

東京市赤坂區溜池町一番地全國山林

會聯合會會頭男爵東久世秀雄呈出

右ノ請願ハ林道ノ開設普及ハ森林資源ノ

開發、林利ノ増進就中林產物生產費ノ大

部分ヲ占ムル運搬費ノ輕減等林業及山村

振興ノ基本的施設ナルニ拘ラス夫其ノ施

設十分ナラサルハ甚遺憾ナルニ依リ政府

ハ昭和十五年度ニ於テ全國ニ瓦ル綜合的

林道網計畫ヲ樹立實施シ以テ今期議會ニ

提出セラレタル森林法中改正法律案ノ目

的トセル施業合理化ト共ニ林業國策ノ貫

徹ヲ期セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院

ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致

候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送

付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣男爵平沼駿一郎殿

意見書案

造林國策樹立實施ニ關スル件

東京市赤坂區溜池町一番地全國山林

會聯合會會頭男爵東久世秀雄呈出

右ノ請願ハ我國ニ於ケル木材ハ近年產業

ノ進展就中纖維工業ノ發展ニ伴ヒ需要著

シク增加セルニ拘ラス山村ノ疲弊困憊ト

林道開設ノ不備 森林金融ノ不振ニ伴ヒ

甚シク植伐ノ均衡ヲ失シツツアルハ木材

需給ノ調節上遺憾ナルニ依リ速ニ内外地

及滿洲國ヲ通シ綜合一貫セル造林國策ヲ

樹立實施シ以テ木材資源ノ保續増殖ヲ期

シ産業ノ進展ニ資セラレタシトノ旨趣ニ

シテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモ

ノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依

リ別冊及送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣男爵平沼駿一郎殿

意見書案

國立自然博物館設立ノ件

東京市四谷區東信濃町十番地土族谷

津直秀外六名呈出

右ノ請願ハ各種ノ天然資源ヲ綜合的且有

機的ニ蒐集調查整理スル自然博物館ノ設

立ヲ圖ルハ現下ノ情勢ニ鑑ミ喫緊ノ要務

ナルニ依リ速ニ國立自然博物館ヲ實現シ

以テ科學教育ノ徹底、資源ノ開發等文化

ノ向上ニ寄與シ延々利用厚生ヲ促シ且美

術博物館ト共ニ觀光上ノ利便ニモ資セラ

レタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大

體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院

法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣男爵平沼駿一郎殿

之ヲ廢止スルカ若ハ各種地目ヲ區分シ其

ノ地租附加稅ニ準據セル賦課額ヲ規定制

限スルヤウ改正セラレタシトノ旨趣ニシ

テ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノ

ト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ

別冊及送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣男爵平沼駿一郎殿

意見書案

岩手縣紫波郡志和村ニ盛岡區裁判所出

張所設置ノ件

岩手縣紫波郡志和村長北條詔美呈出  
右ノ請願八岩手縣紫波郡志和、水分及不動ノ三村ハ近時世運ノ發達ト時局ノ趨勢ニ伴ヒ登記件數激増セルニ拘ラス今尙盛岡區裁判所日詰出張所ノ管轄ニ屬シ住民ノ不便少カラサルニ依リ之等三箇村ヲ管轄區域トスル盛岡區裁判所出張所ヲ志和村大字上平澤字川原田ニ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年月日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣男爵平沼謙一郎殿

意見書案

國民負擔不均衡是正ニ關スル件

埼玉縣兒玉郡本庄町埼玉縣兒玉郡農會長須賀太郎呈出

兵庫縣有馬郡三田町兵庫縣有馬郡農會長山脇延吉外十三名呈出

茨城縣水戶市茨城縣農會長中村哲藏呈出

埼玉縣川越市埼玉縣川越市農會長栗原登喜藏外一名呈出

石川縣羽咋郡羽咋町石川縣羽咋郡農會長釜谷七太郎呈出

埼玉縣南埼玉郡岩槻町埼玉縣南埼玉郡農會長渡邊多傳司呈出

宮城縣仙臺市宮城縣名取郡農會長山田甚助外二名呈出

福井縣今立郡鯖江町福井縣今立郡農會長森廣之呈出  
石川縣鳳至郡穴水町石川縣鳳至郡農會長布施丑造外一名呈出  
兵庫縣宍粟郡山崎町兵庫縣宍粟郡農會長小林善太郎外十三名呈出  
秋田縣平鹿郡横手町秋田縣平鹿郡農會長片野重脩外五名呈出  
島根縣安濃郡太田町島根縣安濃郡農會長恒松於菟二外四名呈出  
福島縣耶麻郡喜多方町福島縣耶麻郡農會長岡野隆馬外一名呈出  
千葉市千葉縣千葉市農會長井上洞看外二名呈出  
福井縣遠敷郡小濱町福井縣遠敷郡農會長濱野千代太郎外三名呈出  
三重縣一志郡久居町三重縣一志郡農會長小林嘉平治呈出  
茨城縣行方郡延方村茨城縣行方郡農會長小松崎利三治呈出  
和歌山縣西牟婁郡田邊町和歌山縣西牟婁郡農會長楠本捨吉呈出  
宮城縣柴田郡大河原町宮城縣柴田郡農會長升敏之助外四名呈出  
岩手縣東磐井郡大原町岩手縣東磐井農會長堀喜內呈出  
福岡縣山門郡柳河町福岡縣山門郡農會長山脇延吉外十三名呈出  
野有光外十三名呈出  
德島縣那賀郡富岡町德島縣那賀郡農會長森廣之呈出

會長谷六三郎外八名呈出  
千葉縣匝瑳郡八日市場町千葉縣匝瑳郡農會長福島辰三郎呈出  
和歌山縣那賀郡粉河町和歌山縣那賀郡農會長林良太郎呈出  
北海道札幌市北海道農會長男爵佐藤昌介呈出  
鳥取縣米子市鳥取縣西伯郡農會長水野新太郎外六名呈出  
三重縣四日市市三重縣三重郡農會長宇佐美祐次外十一名呈出  
奈良市奈良縣農會長都司太右衛門外十一名呈出  
島根縣松江市島根縣八束郡農會長野津運一呈出  
貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣男爵平沼謙一郎殿

意見書案

右ノ請願ハ銃後ニ於ケル農村生活ノ安定ヲ圖ル爲臨時地方財政調整交付金制度ヲ確立スルト共ニ國民負擔不均衡ノ是正ヲ

眼目トセル稅制(特ニ戸數割制度ノ除去)

ノ改革ヲ斷行セラレタシトノ旨趣ニシテ

議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣男爵平沼謙一郎殿

意見書案

農村部落團體活動助成金交付ニ關スル件

兵庫縣有馬郡三田町兵庫縣有馬郡農會長山脇延吉外十三名呈出

茨城縣水戶市茨城縣農會長中村哲藏呈出

石川縣羽咋郡羽咋町石川縣羽咋郡農會長釜谷七太郎呈出

宮城縣柴田郡大河原町宮城縣柴田郡農會長升敏之助外四名呈出

岩手縣東磐井郡大原町岩手縣東磐井農會長堀喜內呈出

福岡縣山門郡柳河町福岡縣山門郡農會長山脇延吉外十三名呈出

野有光外十三名呈出

德島縣那賀郡富岡町德島縣那賀郡農會長森廣之呈出

東京市赤坂區溜池町一番地全國山林會合會頭男爵東久世秀雄呈出  
會員ノ件

福井縣今立郡鯖江町福井縣今立郡農會長森廣之呈出

右ノ請願ハ木材ノ需要激増ノ趨勢ナルニ鑑ミ政府ハ昭和十三年度ヨリ民有林ノ間伐ヲ汎行セシメ保續的ニ木材ノ增産ヲ圖ルト共ニ之カ間伐材ノ販賣斡旋ヲ各府縣和歌山縣那賀郡粉河町和歌山縣那賀郡農會長林良太郎呈出

千葉縣匝瑳郡八日市場町千葉縣匝瑳郡農會長森廣之呈出

和歌山縣那賀郡粉河町和歌山縣那賀郡農會長林良太郎呈出

北海道札幌市北海道農會長男爵佐藤昌介呈出

鳥取縣米子市鳥取縣西伯郡農會長水野新太郎外六名呈出

三重縣四日市市三重縣三重郡農會長宇佐美祐次外十一名呈出

奈良市奈良縣農會長都司太右衛門外十一名呈出

島根縣松江市島根縣八束郡農會長野津運一呈出

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣男爵平沼謙一郎殿

意見書案

昭和十四年月日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣男爵平沼謙一郎殿

意見書案

農村部落團體活動助成金交付ニ關スル件

兵庫縣有馬郡三田町兵庫縣有馬郡農會長山脇延吉外十三名呈出

茨城縣水戶市茨城縣農會長中村哲藏呈出

石川縣羽咋郡羽咋町石川縣羽咋郡農會長釜谷七太郎呈出

宮城縣柴田郡大河原町宮城縣柴田郡農會長升敏之助外四名呈出

岩手縣東磐井郡大原町岩手縣東磐井農會長堀喜內呈出

福岡縣山門郡柳河町福岡縣山門郡農會長山脇延吉外十三名呈出

野有光外十三名呈出

德島縣那賀郡富岡町德島縣那賀郡農會長森廣之呈出

東京市赤坂區溜池町一番地全國山林會合會頭男爵東久世秀雄呈出  
會員ノ件

福井縣今立郡鯖江町福井縣今立郡農會長森廣之呈出

石川縣鳳至郡穴水町石川縣鳳至郡農  
會長布施丑造外一名呈出  
兵庫縣佐用郡佐用町兵庫縣佐用郡農  
會長小笠耕作外十二名呈出  
秋田縣平鹿郡橫手町秋田縣平鹿郡農  
會長片野重脩外五名呈出  
鳥根縣安濃郡太田町島根縣安濃郡農  
會長恒松於菟二外四名呈出  
福島市福島縣信夫郡農會長加藤清作  
二名呈出  
千葉縣香取郡小見川町千葉縣香取郡  
農會長小堀晃三外三名呈出  
福井縣遠敷郡小濱町福井縣遠敷郡農  
會長濱野千代太郎外三名呈出  
三重縣一志郡久居町三重縣一志郡農  
會長小林嘉平治呈出  
茨城縣行方郡延方村茨城縣行方郡農  
會長小松崎利三治呈出  
和歌山縣西牟婁郡田邊町和歌山縣西  
牟婁郡農會長楠本捨吉呈出  
宮城縣柴田郡大河原町宮城縣柴田郡  
農會長升敏之助外四名呈出  
福岡縣山門郡柳河町福岡縣山門郡農  
會長堀喜内呈出  
岩手縣和賀郡黑澤尻町岩手縣和賀郡  
農會長伊藤治郎外四名呈出  
德島縣麻植郡川島町德島縣麻植郡農  
會長川眞田萬太郎外八名呈出  
千葉縣匝瑳郡八日市場町千葉縣匝瑳  
郡農會長福島辰三郎呈出

和歌山縣那賀郡粉河町和歌山縣那賀  
郡農會長林良太郎呈出  
北海道札幌市北海道農會長男爵佐藤  
昌介呈出  
鳥取縣米子市鳥取縣米子市農會長坂  
口平兵衛外六名呈出  
三重縣鈴鹿郡龜山町三重縣鈴鹿郡農  
會長佐藤邦則外十二名呈出  
奈良市奈良縣奈良市農會長松田吉太  
郎外十一名呈出  
鳥根縣松江市鳥根縣八束郡農會長野  
津遼一呈出  
右ノ請願ハ農村部落團體ハ勞働力ノ不足、  
資材ノ缺乏等總ニル困難ヲ排シ銳後ニ於  
三重縣一志郡久居町三重縣一志郡農  
會長小林嘉平治呈出  
茨城縣行方郡延方村茨城縣行方郡農  
會長小松崎利三治呈出  
和歌山縣西牟婁郡田邊町和歌山縣西  
牟婁郡農會長楠本捨吉呈出  
宮城縣柴田郡大河原町宮城縣柴田郡  
農會長升敏之助外四名呈出  
福岡縣山門郡柳河町福岡縣山門郡農  
會長堀喜内呈出  
岩手縣和賀郡黑澤尻町岩手縣和賀郡  
農會長伊藤治郎外四名呈出  
德島縣麻植郡川島町德島縣麻植郡農  
會長川眞田萬太郎外八名呈出  
千葉縣匝瑳郡八日市場町千葉縣匝瑳  
郡農會長福島辰三郎呈出

昌介呈出  
鳥取縣米子市鳥取縣米子市農會長坂  
口平兵衛外六名呈出  
三重縣鈴鹿郡龜山町三重縣鈴鹿郡農  
會長佐藤邦則外十二名呈出  
奈良市奈良縣奈良市農會長松田吉太  
郎外十一名呈出  
鳥根縣松江市鳥根縣八束郡農會長野  
津遼一呈出  
右ノ請願ハ農村部落團體ハ勞働力ノ不足、  
資材ノ缺乏等總ニル困難ヲ排シ銳後ニ於  
三重縣一志郡久居町三重縣一志郡農  
會長小林嘉平治呈出  
茨城縣行方郡延方村茨城縣行方郡農  
會長小松崎利三治呈出  
和歌山縣西牟婁郡田邊町和歌山縣西  
牟婁郡農會長楠本捨吉呈出  
宮城縣柴田郡大河原町宮城縣柴田郡  
農會長升敏之助外四名呈出  
福岡縣山門郡柳河町福岡縣山門郡農  
會長堀喜内呈出  
岩手縣和賀郡黑澤尻町岩手縣和賀郡  
農會長伊藤治郎外四名呈出  
德島縣麻植郡川島町德島縣麻植郡農  
會長川眞田萬太郎外八名呈出  
千葉縣匝瑳郡八日市場町千葉縣匝瑳  
郡農會長福島辰三郎呈出

昌介呈出  
鳥取縣米子市鳥取縣米子市農會長坂  
口平兵衛外六名呈出  
三重縣鈴鹿郡龜山町三重縣鈴鹿郡農  
會長佐藤邦則外十二名呈出  
奈良市奈良縣奈良市農會長松田吉太  
郎外十一名呈出  
鳥根縣松江市鳥根縣八束郡農會長野  
津遼一呈出  
右ノ請願ハ農村部落團體ハ勞働力ノ不足、  
資材ノ缺乏等總ニル困難ヲ排シ銳後ニ於  
三重縣一志郡久居町三重縣一志郡農  
會長小林嘉平治呈出  
茨城縣行方郡延方村茨城縣行方郡農  
會長小松崎利三治呈出  
和歌山縣西牟婁郡田邊町和歌山縣西  
牟婁郡農會長楠本捨吉呈出  
宮城縣柴田郡大河原町宮城縣柴田郡  
農會長升敏之助外四名呈出  
福岡縣山門郡柳河町福岡縣山門郡農  
會長堀喜内呈出  
岩手縣和賀郡黑澤尻町岩手縣和賀郡  
農會長伊藤治郎外四名呈出  
德島縣麻植郡川島町德島縣麻植郡農  
會長川眞田萬太郎外八名呈出  
千葉縣匝瑳郡八日市場町千葉縣匝瑳  
郡農會長福島辰三郎呈出

ノ施設今尙十分ナラサルハ甚遺憾ナルニ  
依リ速ニ請願人等所案ノ如ク國庫補助、  
縣費支辨ニシテ同港ノ完備ヲ圖リ以テ裏日  
シテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモ  
リ別冊及送付候也

昭和十四年月日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

意見書案

右ノ請願ハ國道四號線ハ我國東北部ニ於  
ケル重要幹線ニシテ日光、那須、鹽原ノ  
景勝地ヲ控ヘ且東京那須間ノ沿線地方ハ  
著シク發達シ產業、交通並軍事上之力改  
良ノ急務ナルニ鑑ミ政府ハ昭和十二年度  
ヨリ一部改築並鋪裝工事ヲ爲シタリト雖  
殘存セルモノ少カラサルニ依リ昭和十四  
年度以降ニ於テモ之ヲ繼續實施シ又目下  
縣營ニテ改良中ナル日光國立公園關係ノ  
道路ハ縣財政上其ノ完成期シ難キヲハテ  
キモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ  
依リ別冊及送付候也

昭和十四年月日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

意見書案

右ノ請願ハ山陽線間防高森、山口線德佐ノ兩驛  
間ヲ鐵道豫定線ニ編入ノ件

山口縣都濃郡須々万村長有馬雅輔外  
十六名呈出

右ノ請願ハ山陽線間防高森、山口線德佐  
ノ兩驛間ニ鐵道ヲ敷設スルハ沿線地方ニ  
於ケル豐富ナル農林鑄產ノ資源開發上裨  
益スル所大ナルノミナラス豫定線德佐、  
大井間鐵道竝萩港ト相俟テ西日本ト北鮮  
満蒙トヲ連絡スル捷徑トナル等運輸交通、  
觀光並軍事上亦貢獻スル所少カラサルニ  
依リ速ニ之カ區間ニ鐵道敷設法豫定線ニ  
編入セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ  
願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候  
因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付

ノ依別冊及送付候也

昭和十四年月日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

意見書案

西紀勢線鐵道速成ノ件

和歌山縣東牟婁郡色川村長久保嘉七  
外二十六名呈出

右ノ請願ハ紀勢中線串本驛ト紀勢西線江  
住驛ヲ結フ未成線西紀勢線鐵道ハ目下工  
事中ナルモ之カ竣工ノ遲速ハ地方產業並  
運輸交通上至大ノ影響アルニ依リ完成年  
度ヲ繩上ケ速ニ開通ヲ圖ラレタシトノ旨  
趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘ

キモノト議決致候因テ議院法第六十五條  
ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

意見書案

豫定線新宮、阪本間鐵道速成ニ關スル件

和歌山縣東牟婁郡色川村長久保嘉七  
外二十五名呈出

右ノ請願ハ未成線阪本線鐵道竝豫定線阪  
本、新宮間鐵道ノ速成ヲ圖ルハ沿線地方  
ニ於ケル豐富ナル林、礦產等各種資源ノ  
開發上貢獻スル所大ナルノミナラス運輸  
交通竝觀光上利便亦尠カラサルニ依リ速  
ニ新宮方面ヨリモ起工シ以テ同鐵道ノ竣  
成期間ヲ短縮セラレタシトノ旨趣ニシテ  
貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト  
議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別  
冊及送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

意見書案

私立大學國庫補助法制定ノ件

東京市本郷區千駄木町五十九番地日  
本醫科大學長塙田廣重外二十三名呈  
出

右ノ請願ハ私立大學ハ國家最高ノ教育事  
業ヲ分擔シ輓近其ノ內容大ニ整備充實シ  
教育ノ成果亦觀ルヘキモノアルニ至リタ  
ル

ルモ尙官立大學ニ一籌ヲ輸スルハニ資  
金ノ不足ニ職由スルモノニシテ財政的基  
礎ヲ強固ニシテ其ノ經營ヲ安定ナラシムル  
ハ時局下ニ於テ最緊要事ナルヲ以テ大學  
令ニ依リ設立シタル私立大學ニ對シ國庫  
補助金ヲ交付スヘキ法律ヲ制定セラレタ  
シトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ  
採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第  
六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

意見書案

豫定線松山附近、佐川間鐵道速成ノ件  
高知縣高岡郡佐川町長三宮綠外十三  
名呈出

愛媛縣松山市長清水勇三郎外五十八  
名呈出

右ノ請願ハ豫定線松山附近、佐川間鐵道  
ヲ速成スルハ愛媛、高知兩縣下ニ於ケル  
文化ノ向上、產業ノ發達ニ貢獻スル所大ナ  
ルノミナラス太平洋岸下瀬戸内海方面トヲ  
連絡シ延テハ中國地方ヲ經テ日本海岸  
ニ達スル捷徑トシテ運輸交通竝國防上須  
要ナルニ依リ速ニ之カ實現ヲ圖ラレタシ  
トノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採  
擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六  
十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

意見書案

右ノ請願ハ豫定線千葉、銚子ノ兩驛間電化促進  
ノ件

千葉縣銚子市長川村芳次外十名呈出  
内閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

右ノ請願ハ總武本線千葉、銚子兩驛間ノ  
沿線地方ハ近年產業ノ發達ニ伴ヒ貨客著  
シク増加シ運輸交通ノ圓滑ヲ要望スルコ  
ト切ナルニ依リ速ニ之カ兩驛間ヲ電化シ  
以テ同線運轉系統ノ統制強化ヲ圖ラレタ  
シトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ  
採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第  
六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

意見書案

第三項ノ規定ニ依ル補償ニ關スル勅令ノ  
右ノ請願ハ自動車交通事業法第三十七條  
東京市麹町區丸ノ内二丁目一番地會  
社員伊原五郎兵衛呈出

右ノ請願ハ自動車交通事業法第三十七條  
第三項ノ規定ニ依ル補償ニ關スル勅令ノ  
ノ実現ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族  
院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決  
致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及  
送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

意見書案

○議長(伯爵松平 賴壽君) 是等ノ請願ハ、  
請願委員長ノ報告通り採擇スルコトニ御異  
議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(伯爵松平 賴壽君) 御異議ナイト認  
メマス

致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及  
送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

右ノ請願ハ大體ハ採擇スヘキモノト議決  
割交付シ得ルヤウ請願人所案ノ如ク同勅  
令ヲ改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族  
院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決

○議長(伯爵松平龍壽君) 次會ハ明二十四  
日午前十時ヨリ開會致シマス、議事日程ハ  
決定次第彙報ヲ以テ御通知ヨ及ビマス、本  
日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時十一分散會

